



茨城県

茨城県景気ウォッチャー調査

(平成21年12月調査分)

《景気の現状判断DI》

	平成21年9月	平成21年12月	前回調査比
茨城県	37.8	33.0	△4.8
県北地域	35.4	39.0	+3.6
県央地域	37.3	33.9	△3.4
鹿行地域	36.8	28.1	△8.7
県南地域	40.2	34.6	△5.6
県西地域	39.4	28.9	△10.5

《景気の先行き判断DI》

	平成21年9月	平成21年12月	前回調査比
茨城県	44.8	34.8	△10.0
県北地域	44.6	35.6	△9.0
県央地域	41.9	37.7	△4.2
鹿行地域	44.7	36.8	△7.9
県南地域	45.1	33.8	△11.3
県西地域	47.9	29.8	△18.1

平成22年1月

茨城県企画部統計課

目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	3
1	全県の動向	3
	(1) 景気の現状判断D I	3
	(2) 景気の先行き判断D I	4
2	地域別の動向	5
	(1) 景気の現状判断D I	5
	(2) 景気の先行き判断D I	8
3	回答率	10
III	景気の判断コメント	11
1	景気の現状判断コメント	11
2	景気の先行き判断コメント	21
3	その他の意見	31

問い合わせ先

統計課企画分析グループ TEL:029-301-2642

ホームページアドレス

<http://www.pref.ibaraki.jp/tokei/betu/bukka/watch/index.html>

調査の概要

1 調査の目的

県内の事業所等において経済の第一線で働いている人々から、景気の現状や景気の先行き判断に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに迅速に公表することで、県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気動向判断等の基礎資料とする。

2 調査の範囲

(1)対象地域

県内全域を対象とする。また、全域を県北、県央、鹿行、県南及び県西の5地域に区分する。なお、各地域に含まれる市及び郡は以下のとおりである。 ※平成21年4月1日現在

地域	市及び郡
県北地域	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、那珂郡、久慈郡
県央地域	水戸市、笠間市、小美玉市、東茨城郡
鹿行地域	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
県南地域	土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、稲敷郡、北相馬郡
県西地域	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、結城郡、猿島郡

(2)調査客体

家計動向、企業動向及び雇用動向を敏感に反映する業種に従事する者から、(1)で示した地域ごとに60名、計300名を調査客体とする。

【地域別・業種別調査客体数】

業種名	具	例	県北地域	県央地域	鹿行地域	県南地域	県西地域	合計
家計関連	小売業、飲食業、サービス業、住宅関連等		38	39	38	37	36	188
企業関連	製造業（食料品、一般機械器具等）、建設業、金融業		17	16	17	18	19	87
雇用関連	人材派遣業、公共職業安定所、求人広告業等		5	5	5	5	5	25
	計		60	60	60	60	60	300

3 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断（方向性）
- (2) (1) のコメント（理由）
- (3) 景気の先行きに対する判断（方向性）
- (4) (3) のコメント（理由）
- (5) その他景気に関する意見（自由回答）

4 調査月及び調査期間

調査月は3月、6月、9月及び12月の年4回である。平成21年12月調査の調査期間は平成21年12月1日から平成21年12月31日である。

5 利用上の注意

- (1) DI (Diffusion Index) は景気の方向性 (景気が上向きか下向きか) をみるものであり、景気の水準を判断するものではない。
- (2) ウォッチャーの回答構成比は、小数第1位までの表示とし、表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、構成比の合計は100%とならない場合がある。

DI(Diffusion Index)について

- 1 景気の現状及び景気の先行きに対する判断の回答区分は、以下のとおり5段階としているが、それぞれに点数化し、これらを各回答区分の構成比 (%) に乗じて、景気の方向性をみるための指標 (DI) を算出している。

回答区分	良くなって いる	やや良 くなっている	変わらない	やや悪 くなっている	悪くなって いる
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

2 具体例

回答者数100名で、回答内訳が以下の場合。

良くなって いる	やや良 くなっている	変わらない	やや悪 くなっている	悪くなって いる
15名	27名	25名	11名	22名

それぞれの回答構成比は

良くなって いる	やや良 くなっている	変わらない	やや悪 くなっている	悪くなって いる
15.0%	27.0%	25.0%	11.0%	22.0%

したがって、DI値は、

$$(1点 \times 15.0\%) + (0.75点 \times 27.0\%) + (0.5点 \times 25.0\%) + (0.25点 \times 11.0\%) + (0点 \times 22.0\%) = 50.5 \text{ となる。}$$

この値は、全員が「変わらない」と回答した場合は、 $(0.5点 \times 100\%) = 50$ となることから、50を上回っているときは、景気は上昇局面にあり、また50を下回っているときは、景気は下降局面にあるといえる。

調査結果の概要

1 全県の動向

(1) 景気の現状判断DI

3か月前と比較した景気の現状判断DIは33.0となった。9月調査分より4.8ポイント低下し、横ばいを表す50を10期連続で下回った。

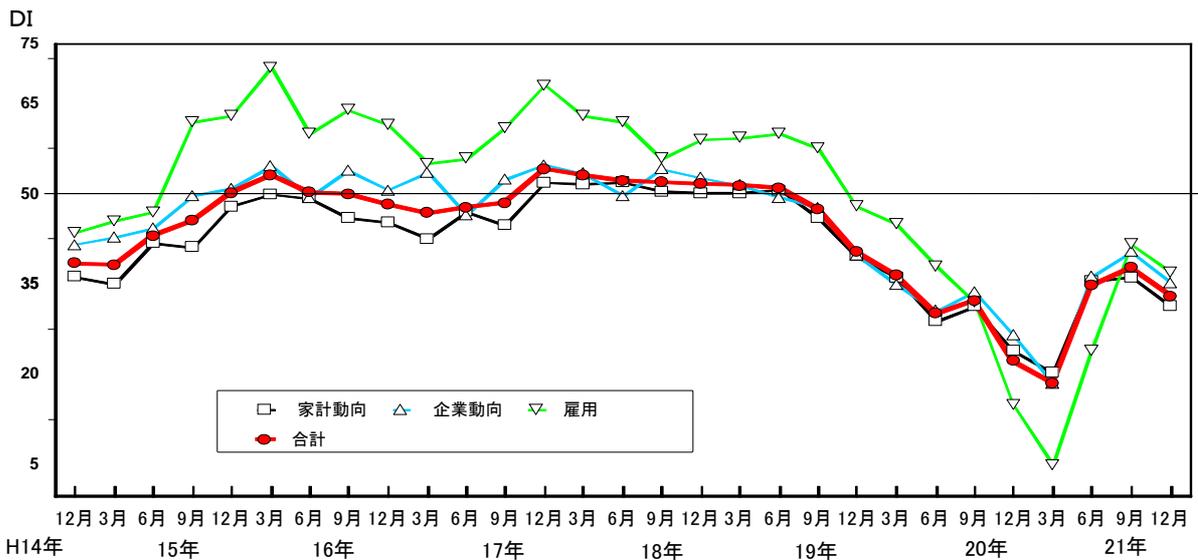
表1-1 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成20年	平成21年	平成21年	平成21年	平成21年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		22.3	18.5	34.8	37.8	33.0
家計動向関連		24.0	20.4	35.6	36.1	31.4
小売関連		19.9	17.5	38.5	35.8	27.0
飲食関連		25.0	26.4	31.6	36.3	33.8
サービス関連		28.4	21.3	33.8	35.3	33.3
住宅関連		16.7	22.2	36.1	44.4	44.4
企業動向関連		20.6	18.5	36.3	40.5	35.2
農林水産業		40.6	21.9	37.5	46.9	40.6
製造業		17.6	18.5	35.6	40.8	39.1
非製造業		20.2	17.7	37.1	38.3	27.6
雇用関連		15.0	5.0	24.0	41.7	37.0

表1-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成20年12月	0.7%	5.1%	16.7%	37.5%	39.9%
平成21年3月	0.4%	1.8%	15.1%	37.0%	45.8%
平成21年6月	1.7%	8.7%	36.3%	33.6%	19.7%
平成21年9月	0.7%	8.2%	47.8%	28.2%	15.1%
平成21年12月	1.0%	6.2%	38.1%	32.9%	21.8%

図1-1 景気の現状判断DIの推移



(2)景気の先行き判断DI

3か月先の景気の先行き判断DIは34.8となった。9月調査分より10.0ポイント低下し、横ばいを表す50を9期連続で下回った。

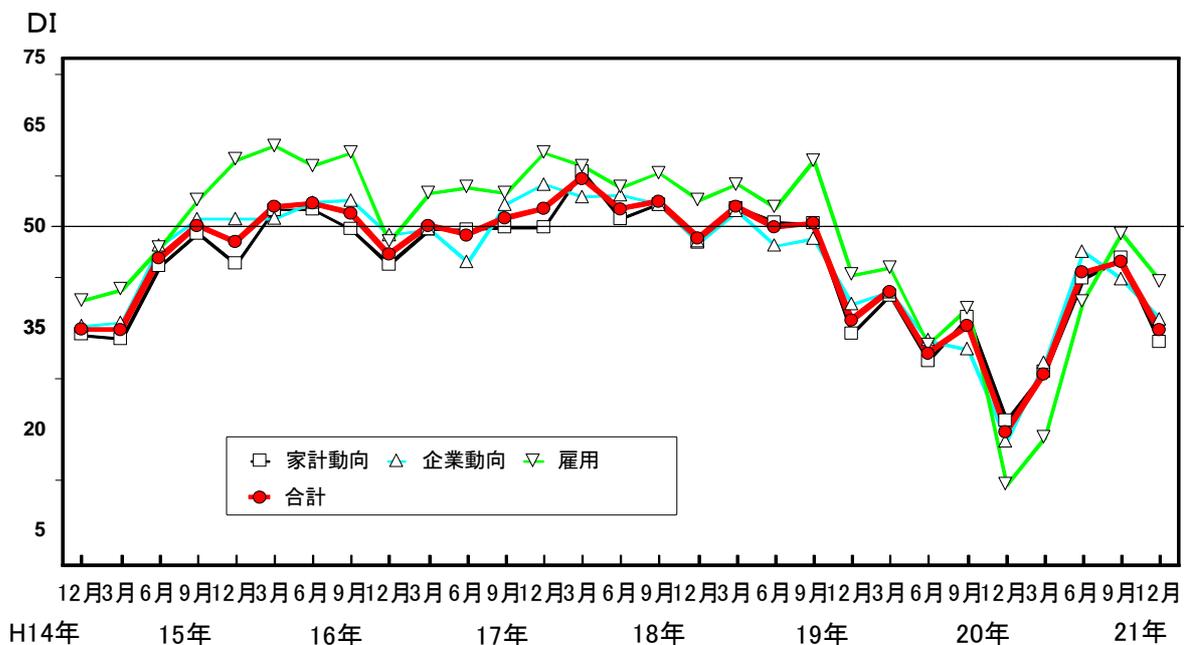
表1 - 3 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成20年 12月	平成21年 3月	平成21年 6月	平成21年 9月	平成21年 12月
合計		19.7	28.2	43.3	44.8	34.8
家計動向関連		21.4	28.6	42.4	45.5	33.0
小売関連		19.5	28.0	44.4	43.2	34.5
飲食関連		21.1	36.1	43.4	51.3	27.5
サービス関連		22.2	26.9	40.3	45.6	30.8
住宅関連		30.6	33.3	41.7	50.0	52.8
企業動向関連		18.3	30.0	46.4	42.3	36.4
農林水産業		28.1	53.1	59.4	53.1	40.6
製造業		18.1	32.1	43.9	39.7	37.5
非製造業		16.1	21.0	46.8	43.3	33.6
雇用関連		12.0	19.0	39.0	49.0	42.0

表1 - 4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成20年12月	0.0%	2.4%	19.5%	32.8%	45.4%
平成21年3月	1.1%	6.3%	29.2%	31.0%	32.4%
平成21年6月	1.4%	15.6%	49.1%	22.5%	11.4%
平成21年9月	0.7%	14.4%	57.4%	18.6%	8.9%
平成21年12月	1.0%	6.2%	42.9%	30.4%	19.4%

図1 - 2 景気の先行き判断DIの推移



2 地域別の動向

(1) 景気の現状判断DI

県北地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは39.0となった。9月調査分より3.6ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を11期連続で下回った。

表2-1 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成20年	平成21年	平成21年	平成21年	平成21年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		23.7	16.2	32.6	35.4	39.0
家計動向関連		20.9	17.1	31.9	31.8	37.5
企業動向関連		29.4	14.7	36.1	41.7	44.4
雇用関連		25.0	15.0	25.0	40.0	30.0

表2-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成20年12月	1.7%	8.5%	16.9%	28.8%	44.1%
平成21年3月	0.0%	0.0%	14.0%	36.8%	49.1%
平成21年6月	1.7%	8.5%	32.2%	33.9%	23.7%
平成21年9月	0.0%	10.0%	40.0%	31.7%	18.3%
平成21年12月	3.4%	10.2%	35.6%	40.7%	10.2%

県央地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは33.9となった。9月調査分より3.4ポイント低下し、横ばいを表す50を10期連続で下回った。

表2-3 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成20年	平成21年	平成21年	平成21年	平成21年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		23.7	20.1	30.3	37.3	33.9
家計動向関連		28.3	24.3	36.1	37.5	35.5
企業動向関連		15.6	14.1	25.0	35.9	25.0
雇用関連		15.0	10.0	5.0	40.0	50.0

表2-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成20年12月	0.0%	6.8%	16.9%	40.7%	35.6%
平成21年3月	0.0%	1.8%	17.9%	39.3%	41.1%
平成21年6月	0.0%	5.3%	35.1%	35.1%	24.6%
平成21年9月	0.0%	6.8%	47.5%	33.9%	11.9%
平成21年12月	0.0%	6.8%	45.8%	23.7%	23.7%

鹿行地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは28.1となった。9月調査分より8.7ポイント低下し、横ばいを表す50を9期連続で下回った。

表2-5 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成20年	平成21年	平成21年	平成21年	平成21年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		20.3	14.0	33.2	36.8	28.1
家計動向関連		22.9	17.4	31.8	36.5	24.3
企業動向関連		17.6	10.9	37.5	36.7	38.3
雇用関連		10.0	0.0	30.0	40.0	25.0

表2-6 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成20年12月	0.0%	1.7%	19.0%	37.9%	41.4%
平成21年3月	0.0%	1.8%	8.8%	33.3%	56.1%
平成21年6月	0.0%	8.6%	34.5%	37.9%	19.0%
平成21年9月	0.0%	7.0%	50.9%	24.6%	17.5%
平成21年12月	0.0%	7.0%	28.1%	35.1%	29.8%

県南地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは34.6となった。9月調査分より5.6ポイント低下し、横ばいを表す50を9期連続で下回った。

表2-7 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成20年	平成21年	平成21年	平成21年	平成21年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		24.2	23.2	42.1	40.2	34.6
家計動向関連		26.4	25.0	42.4	37.1	33.6
企業動向関連		23.6	26.4	42.2	45.3	35.3
雇用関連		10.0	0.0	40.0	45.0	40.0

表2-8 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成20年12月	1.7%	5.1%	13.6%	47.5%	32.2%
平成21年3月	1.8%	0.0%	23.6%	38.2%	36.4%
平成21年6月	1.8%	12.3%	47.4%	29.8%	8.8%
平成21年9月	1.8%	5.4%	57.1%	23.2%	12.5%
平成21年12月	1.8%	5.3%	36.8%	42.1%	14.0%

県西地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは28.9となった。6月調査分より10.5ポイント低下し、横ばいを表す50を10期連続で下回った。

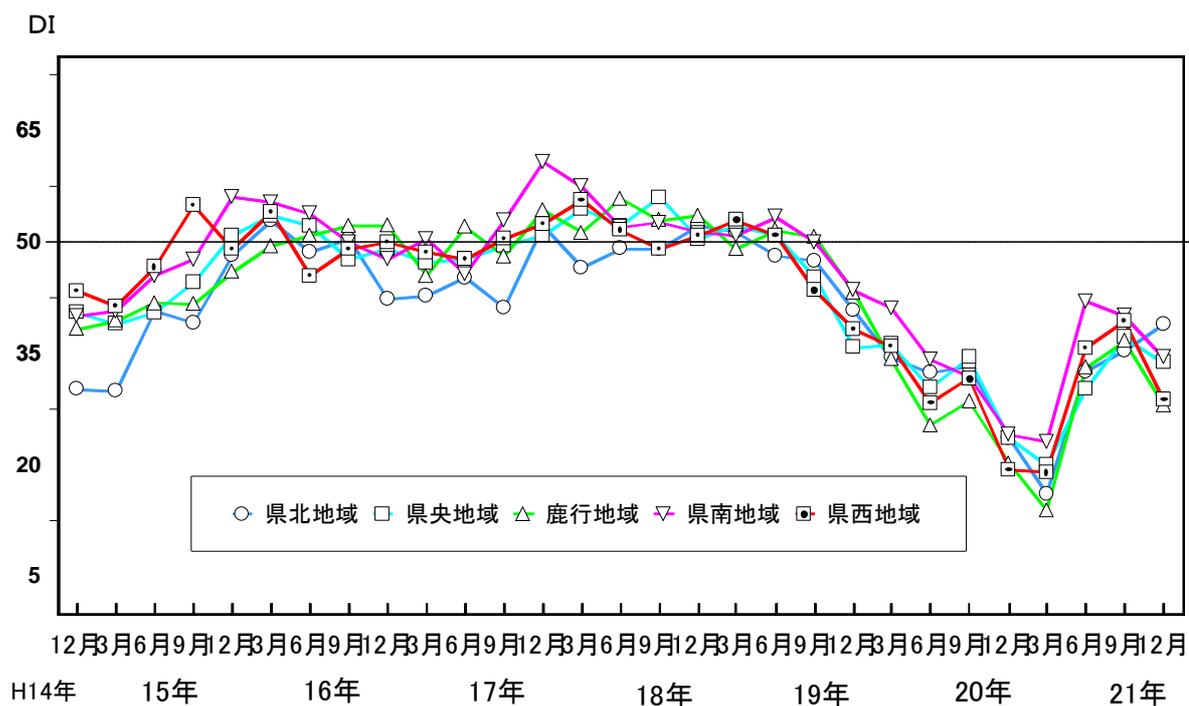
表2-9 景気の現状判断DI

分野	調査月				
	平成20年 12月	平成21年 3月	平成21年 6月	平成21年 9月	平成21年 12月
合計	19.4	19.1	35.8	39.4	28.9
家計動向関連	21.4	18.8	35.7	37.5	25.7
企業動向関連	16.7	25.0	40.3	42.1	32.4
雇用関連	15.0	0.0	20.0	43.8	40.0

表2-10 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成20年12月	0.0%	3.4%	17.2%	32.8%	46.6%
平成21年3月	0.0%	5.1%	11.9%	37.3%	45.8%
平成21年6月	5.2%	8.6%	32.8%	31.0%	22.4%
平成21年9月	1.7%	11.9%	44.1%	27.1%	15.3%
平成21年12月	0.0%	1.8%	43.9%	22.8%	31.6%

図2-1 地域別現状判断DIの推移



(2)景気の先行き判断DI

県北地域

3か月先の景気の先行き判断DIは35.6となった。9月調査分より9.0ポイント低下し、横ばいを表す50を9期連続で下回った。

表2-11 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成20年	平成21年	平成21年	平成21年	平成21年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		15.3	24.6	41.5	44.6	35.6
	家計動向関連	14.2	26.4	38.2	43.2	35.4
	企業動向関連	17.6	20.6	52.8	45.8	37.5
	雇用関連	15.0	25.0	25.0	50.0	30.0

表2-12 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成20年12月	0.0%	1.7%	15.3%	25.4%	57.6%
平成21年3月	3.5%	3.5%	24.6%	24.6%	43.9%
平成21年6月	1.7%	15.3%	47.5%	18.6%	16.9%
平成21年9月	1.7%	10.0%	61.7%	18.3%	8.3%
平成21年12月	1.7%	6.8%	39.0%	37.3%	15.3%

県央地域

3か月先の景気の先行き判断DIは37.7となった。9月調査分より4.2ポイント低下し、横ばいを表す50を10期連続で下回った。

表2-13 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成20年	平成21年	平成21年	平成21年	平成21年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		18.2	25.9	41.2	41.9	37.7
	家計動向関連	24.3	32.1	46.5	42.8	38.2
	企業動向関連	7.8	18.8	35.9	39.1	37.5
	雇用関連	5.0	5.0	20.0	45.0	35.0

表2-14 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成20年12月	0.0%	6.8%	8.5%	35.6%	49.2%
平成21年3月	0.0%	5.4%	23.2%	41.1%	30.4%
平成21年6月	0.0%	10.5%	56.1%	21.1%	12.3%
平成21年9月	0.0%	13.6%	50.8%	25.4%	10.2%
平成21年12月	1.7%	1.7%	55.9%	27.1%	13.6%

鹿行地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは36.8となった。9月調査分より7.9ポイント低下し、横ばいを表す50を9期連続で下回った。

表2 - 15 景気の先行き判断DI

分野	調査月				
	平成20年 12月	平成21年 3月	平成21年 6月	平成21年 9月	平成21年 12月
合計	21.1	28.1	42.7	44.7	36.8
家計動向関連	22.9	26.4	38.5	43.9	30.4
企業動向関連	20.6	34.4	50.0	45.0	48.3
雇用関連	10.0	20.0	50.0	50.0	50.0

表2 - 16 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成20年12月	0.0%	1.7%	15.5%	48.3%	34.5%
平成21年3月	0.0%	5.3%	35.1%	26.3%	33.3%
平成21年6月	1.7%	15.5%	46.6%	24.1%	12.1%
平成21年9月	0.0%	17.5%	54.4%	17.5%	10.5%
平成21年12月	0.0%	10.5%	45.6%	24.6%	19.3%

県南地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは33.8となった。9月調査分より11.3ポイント低下し、横ばいを表す50を9期連続で下回った。

表2 - 17 景気の先行き判断DI

分野	調査月				
	平成20年 12月	平成21年 3月	平成21年 6月	平成21年 9月	平成21年 12月
合計	24.6	30.5	44.7	45.1	33.8
家計動向関連	22.9	29.7	41.7	45.7	33.6
企業動向関連	31.9	34.7	48.4	42.2	30.9
雇用関連	10.0	20.0	55.0	50.0	45.0

表2 - 18 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成20年12月	0.0%	1.7%	33.9%	25.4%	39.0%
平成21年3月	1.8%	7.3%	29.1%	34.5%	27.3%
平成21年6月	1.8%	15.8%	45.6%	33.3%	3.5%
平成21年9月	0.0%	14.3%	58.9%	19.6%	7.1%
平成21年12月	1.8%	5.3%	38.6%	35.1%	19.3%

県西地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは29.8となった。9月調査分より18.1ポイント低下し、横ばいを表す50を11期連続で下回った。

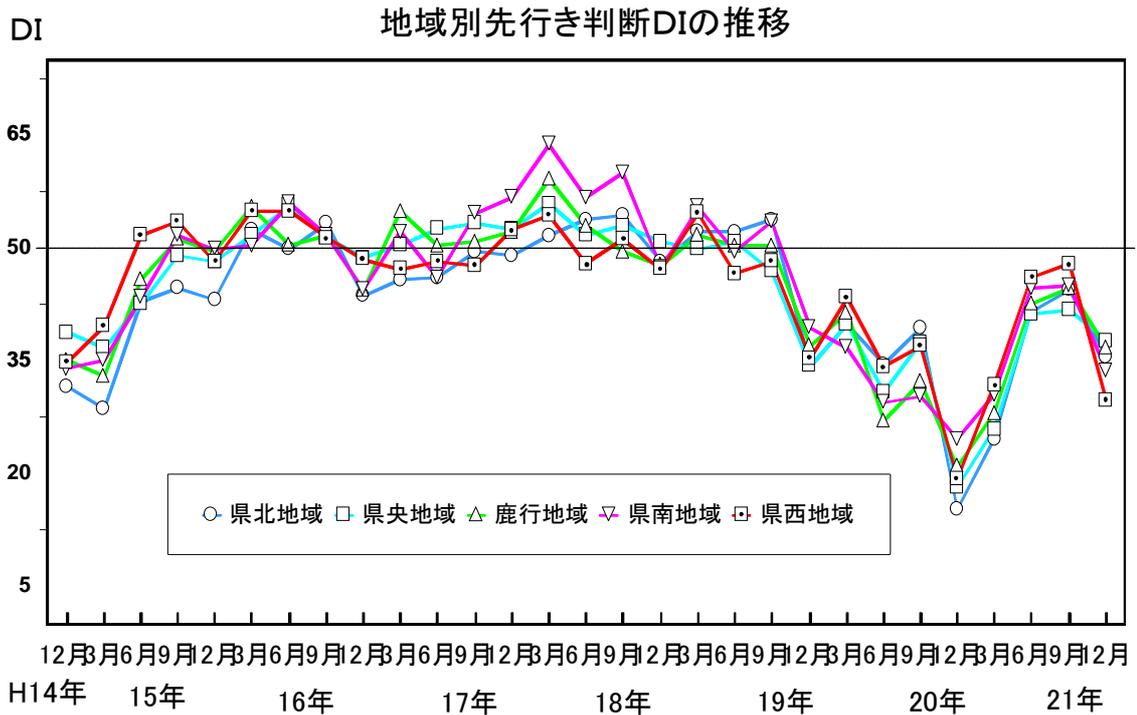
表2 - 19 景気の先行き判断DI

分野	調査月				
	平成20年 12月	平成21年 3月	平成21年 6月	平成21年 9月	平成21年 12月
合計	19.4	31.8	46.1	47.9	29.8
家計動向関連	22.9	28.5	47.1	52.1	27.1
企業動向関連	12.5	40.3	44.4	39.5	29.4
雇用関連	20.0	25.0	45.0	50.0	50.0

表2 - 20 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成20年12月	0.0%	0.0%	24.1%	29.3%	46.6%
平成21年3月	0.0%	10.2%	33.9%	28.8%	27.1%
平成21年6月	1.7%	20.7%	50.0%	15.5%	12.1%
平成21年9月	1.7%	16.9%	61.0%	11.9%	8.5%
平成21年12月	0.0%	7.0%	35.1%	28.1%	29.8%

図2 - 2 地域別先行き判断DIの推移



3 回答率

地域	調査客体	回答数	回答率
全 県	300 人	289 人	96.3%
県北地域	60 人	59 人	98.3%
県央地域	60 人	59 人	98.3%
鹿行地域	60 人	57 人	95.0%
県南地域	60 人	57 人	95.0%
県西地域	60 人	57 人	95.0%

Ⅲ 景気の判断コメント — 1 景気の現状判断コメント

(1) 県北地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	家計	パチンコ店	大型連休も終わり、年末までの間に外に出る機会が増えたのではないかと。	
	企業	製造業（電気機械器具）	製品の出荷台数が増加しているから。	
やや良くなっている	家計	スナック	客の話を聞いてると外食やレジャーに行くことが増えてる様に感じたから。	
		観光型ホテル	行楽シーズンや忘年会シーズンもあり来場者が増えている。ただ、前年度よりは悪い（ここ大子町は昨年「袋田の滝 新観瀑台」のグランドオープンがあった為）	
	企業	林業関係者	共販市場での木材価格は杉材は横ばいで桧材については引き合いがある。全体的に販売率もやや良くなっている。	
		製造業（電気機械器具）	昨年から急激に落ち込んだ受注量を回復させるための営業活動も、3か月前は思うような実績を得られなかったために昨年を下回った悪い状況であった。今月は、情報通信機・医療用機器関係の受注が好調に推移したことにより、工場に明るさと活気が戻ってきている、よって3か月前と比較して売上・景気はやや良くなっていると判断する。	
製造業（電気機械器具）	今月に入って（電気器具製造）プラスチック製品の発注が多くなった。ただ一時的なものかどうかはわからない。			
変わらない	家計	商店街代表者	相変わらず景気悪い。給料3%カット（日製関係）等が関係している？	
		コンビニエンスストア	売上については、依然として低迷しているままであるが前年比の推移としては大きな変化はない。買い物のされ方についても必要なものしか買わない為、衝動買いといった買い物のされ方をしないのもここ数か月業同様の状況だ。景気が悪いなりの消費行動が定着しているのではないかと。	
		衣料品販売店	3か月前の夏物も低調だったし冬物も伸びない。	
		金物・荒物・建築資材	売上に変化がないから。	
		自動車販売店	エコカー減税で多少動きがあったものの、落ち着いてしまった感があり、横ばい状態。	
		小売業（靴製品）	売上でわかる。	
		観光型ホテル	根本的なものは変わらないと思う。不安感、先行きの見通しのなさ、など・・・	
		観光型ホテル	予約状況は昨年同時期とほぼ同じであり、景気は変わらないと判断する。	
		タクシー運転手	利用者が少ない。客が必要最小限利用している感じがある。	
		タクシー運転手	売上下降のためH21/9に私たちの給料も下げられて、会社自体が景気は悪いと思う。3か月前と売上は変わっていないため。	
		ゴルフ場	3か月前と比較してセクション別単価の改善がみられない。	
		レジャー施設	3か月前の客単価及び対前年同期比の売上ともに横ばいである為。	
		理・美容店	年末は通常月に比べ来客数は増えるも例年同様のことで変わらない。	
		住宅販売会社	新規客の集客が増えない。	
		企業	製造業（一般機械器具）	それ程の悲観材料も楽観材料もないから。
			製造業（電気機械器具）	会社（部門別）の業績が少し回復傾向。しかし依然として低迷状況は変わらないと感じる。
製造業（電気機械器具）	悪いながら3か月前と同じように推移している。			
製造業（輸送用機械器具）	グリーン税制還付、中国販売好調等により作業量は回復基調（一部に残業も開始）に伴い人員削減に対し底打ち感はあるものの依然としたリストラ（賃金・賞与カット）は継続しているため良くなっている実感が沸いてこない。			
情報通信業（情報サービス業）	商談は相変わらず少なく、一般競争入札に多くの企業が参加し利益が出ない様な金額で受注するケースが増えている。			
運輸附帯サービス業	政権交代による景気対策の指針が表面化せず、逆に前政権時代の騰出しなどで中小企業対策が具体化（予算）しないため、客観的に言えば状況に押し流されており、むしろ悪くなって来ている感もする。			
雇用	求人开拓員	技術者を募集する事業所（製造）はあるが、簡単作業者を求める求人は少ない。まだまだ上昇機運ではない。		
家計	スーパー	スーパー	客単価が下がっている。	
		スーパー	勝ち組、負け組でハッキリした状態。ただし勝ち組といわれている企業でも売上の減少がある。小売業全体の売上は減少している。1～2か月前より買上の点数はハッキリと減少している。ギフトの点数も単価も減少している。	
		コンビニエンスストア	毎年、年末に向かって客数が増加し、主力の弁当を中心として販売が伸びるが、客数減、客単価減、販売減が続いている為。又、カウンターのおでん、中華まん、フランクを中心としたプラスアルファの商品も販売が厳しく買上げ点数が伸びない為。	
		衣料品販売店	昨年度と比較し売上不振が続いている。	
		小売業（酒類）	固定客減少傾向、新規客伸びず。近所の製造業仕事量回復していない。	
		小売業（水産物）	日々の売上げが下がっている。出入り業者との会話では他の店舗でも売り上げが激減している話ばかり聞く。	
		レストラン	全体的様子から。	
		居酒屋	客単価が悪い。	

やや悪くなっている	和食食堂	企業はボーナスを支給しているのですかね？昔は暮れになるとボーナスがいつ支給されるかなどと期待していたが、今はあまり気にしなくなった。それぞれ「ギリギリ」のところで、やっているのではないか。	
	旅行代理店	個人・団体とも参加者が減少している。	
	タクシー運転手	営業回数の減少。客から給料の下げられた話をたびたびされることもある。	
	タクシー運転手	インフルエンザの影響が各方面に出ている。	
	ドライブイン	直近3か月とも売上・客数が対前年割れしている。	
	ゴルフ場	①来場者の実績推移から、対前年同期比では増しているが計画値（予算）比から見ると達成率がマイナス傾向にある。6月達成率：107% 7月達成率：104% 8月達成率：107% 9月達成率：98% 10月達成率：99% 11月達成率：95%②前年比でキャンセル状況が10%程増加している。（天候不順など）	
	ゴルフ場	政権交代したものの景気回復の兆し見えず。また、政府のデフレ宣言、企業のボーナス減見込み等が多少ながら影響している模様。	
企業	水産業関係者	地元水揚量の著しい減少により、漁業者、加工業者とも不景気に直面しており、景気は悪くなる一方だ。	
	製造業（電気機械器具）	目先の仕事はあるが、1～3ヶ月先の仕事になる受注が少ない。	
	運輸業	季節柄貨物量は増えているが、前年同月比では約7割の貨物量となっている。ここ3か月間の貨物量としては各荷主共生産量が徐々に落ちてきている様子である。	
	金融業	中小企業の業績が悪化傾向にあり、返済に苦慮する事業者が増加している為、借入金の条件変更相談が増えてきている。	
	不動産業	茨城県北部に関して言えば、相変わらず撤退した後の空き店舗が目立ち、先行きに対しての光明が見えない日立市に関しては、製作所関連で消費市場がかるうじて維持されている感が強く。反面、新たな元気な事業が出てこない。	
雇用	求人広告	訪問先の顧客からの情報や、自分の会社の業績から。	
	公共職業安定所	新規求人は依然として対前年を下まわっており、新規求職者数は、反対に対前年を上まわっていることから、有効求人倍率も低水準（0.3倍代）を推移している。そのことから希望する雇用形態（正社員など）、希望する仕事に容易につけない状況があるのではないかと推察できる。また、前記の状況に加え、雇用保険受給者も増加していることから、失業が長期化している状況が続いていると考えられる。	
悪くなっている	□計	商店街代表者	リーマンショック以来、購買意欲が減退している。商品価格の下落（デフレ）。
	□計	ガソリンスタンド	マージンが殆んどない。元売出先が仕入れより安いので皆そこそ下げているし。売上げ量の減少。
		クリーニング店	客数、客単価とも減少傾向であり、さらに1点単価も下がってきている。
	企業	製造業（電気機械器具）	受注量の減少が続いており、景気低迷に在る現状である。
		建設業	見積件数、受注量とも減少傾向で昨年同期よりも厳しくなっていると思う。
雇用	学校就業関係者	10月の就職試験が終わった後、求人が来なくなり不景気が続いているようだ。	

(2) 県央地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	—	—	—	
やや良くなっている	家計	ゴルフ場	3か月前と比較すると、オンシーズンの影響も考えられ来場者数が増加傾向を示してきた。	
		レジャー施設	艇の買い替え（大型化）をする利用者がいるため、景気はやや良くなっていると思われる。	
	□用	人材派遣業	製造業において生産がやや持ち直している企業もある。	
		学校就業関係者	スーパーマーケットで客が混んでいる。若い女性の服装が華やかになってきた。	
変わらない	家計	百貨店、総合スーパー	売上高前期比では、3か月前の水準からほぼ変化がない。客単価前期比では、3か月前より若干だが減少した。	
		百貨店、総合スーパー	相変わらず衝動買いをする人は少なく、よくよく考えたすえ購入する人がほとんど、その購入姿勢は3か月前と変わりが無い感じがする。	
		スーパー	客の動き、商品の売れ行き等から判断してあまり変わっていない。	
		コンビニエンスストア	買上点数、客単価に変動がなく、売上、客数も変わっていない。	
		家電販売店	品物の動きが悪い。価格が下がって利益減少。	
		農産物直売所	来店者数、買上げ点数あまり変わらないが買上げ金額下回っている。単価の高い銘柄牛は相変わらず動き悪い。	
		レストラン	前年売り上げに比べ、客単価の減少はとまらず売上も低迷している。	
		都市型ホテル	3か月前の伸び率と比較して、横ばいの状態である。	
		観光型ホテル	9月のシルバーウィーク以来集客は順調。但し単価は下落の傾向。	
		旅行代理店	経済的・心理的なマイナスは例年になく強いものの10月以降の円高基調が続いている為、海外旅行はやや好転するが、国内旅行は低迷が予想される。	
		タクシー運転手	夜間の人の動きが少なく利用客が減少している。	
		タクシー運転手	タクシー業界で水戸駅待機中客の乗車状況から判断して。	
		パチンコ店	売上高が上がらない為。	
		レジャー施設	新型インフルエンザの影響により団体客のキャンセル等も多いが、ETCカードでの割引制度などを実施しての歯止めにより急激な減少は見られない。	
	理・美容店	七五三、成人式の前撮りが入っていた為、売上はそんなにおちこむ事もなかった。		
	建築設計事務所	主だった景気の変化を感じることは無かった。むしろ耐えている若しくは開き直っている様子だ。		
	住宅販売会社	特に住宅業界は少ないパイの奪い合いになってきているので、現在の厳しい状況は変わっていない。		
	企業	農業関係者	農閑期に入り、特に変化は起きていない。	
		製造業（印刷・同関連業）	3か月前と比べて売上は増えているが季節的要因のため厳しい状態は変わらない。	
		製造業（一般機械器具）	昨年、落ちたまま変わらないと言うことだ。決して良くなっていない。	
		製造業（精密機械器具）	受注が計画予算を下回っているが、売上げは予算を達成した為。	
		運輸業（道路貨物運送業）	12月には行っても貨物の動きに大きな変化は見受けられない。	
		情報通信業（情報サービス業）	景気回復基調が感じられず、市場から明るい話は殆ど聞くことが出来ない。顧客からは、商談があっても競合できる低価格を設定せざるを得ず、期待される利鞘の確保は困難であり、生き残ることが精一杯との話が聞こえて来る。比較的余裕あると思われる顧客も、先行き不安からか、新規投資はもう少し状況を見極めてから判断するとの慎重姿勢が見られる。3か月前との比較でも、厳しい状況に殆ど変化なし。	
		金融業	今月は、ボーナス支給等により来客数は増加傾向にあるものの支給額の減額が予想され又、可処分所得にも余裕は無く、景気状況良くなるとは思えない。	
		□用	求人広告	年末年始の募集が例年だとあるが昨年に比べガタ落ち。
			求人開拓員	来館者数が対前年比120%の伸びだ。新規登録者数は対前年比118%の伸びだ。以前として、増加の傾向だ。
変わらない		商店街代表者	需要が落ち込んで価格競争が激しい。	
	スーパー	チラシ商品の価格低下が加速し、セール品しか動かない状況。客数に変化はないが客単価が低下している。		
	コンビニエンスストア	売れる商品が以前と変わり、安いもの（割安感のあるもの）へ集中し、コンビニエンスの利用の仕方も変わり始め、出来る限りお金を使わない消費行動となっている。予算の削減など騒がれている中、公共工事が減り、作業員の来店が激減している。		

やや悪くなっている	家口	自動車販売店	全体的なボリュームは、あまり変化ないが大型乗用車の売れが減少しており小型車中心の売れにシフトしている。収益減に若干なってきた。
		専門スーパー	秋口には建築資材関係の動向も上がり、工事関係も上向きに変わるかと思えたが、現状は、資材関係及びそれに使用する道具などの動きも悪い。以前は、材料的なものの動向減であったが、今はそれに使用する道具まで動きが悪い。ボーナスなどの減少が影響を与えている。
		レストラン	利用客の減少と単価の低下。
		レストラン	忘年会シーズンであるが、昨年の同時期と比べると客単価は少しさがっている。また、ファミリー客の動きが少ない。
		割烹料理店	スーパーでの激安弁当などが出来て来て即食べられる方に人が動いている。
		都市型ホテル	11月は七五三、12月は忘年会の時期ではあるが、客の動きがにぶく、予約がのびてこない。また、家族客が減っている。
		タクシー運転手	売上が減っており、客からもいい話を聞かない。
		ドライブイン	この時期売上は1年のうちで1番下廻る時期だが3か月前と比較すると伸びていない。インフルエンザの流行で旅行をひかえている客もいる。前年に比べても1/3ほど悪かった。
		観光名所	売上で見ると3か月前の前年比と比較して今月の前年比の伸びはややにぶい傾向だ。人出に関しては昨年同様の動きなので若干客単価が下がっていると思われる。
企業	製造業(食料品)	不景気のため、消費者のお財布のひもが固いため売上げが伸びない。	
	建設業	官庁工事見直しの影響が出始めている。	
悪くなっている	家口	商店街代表者	交通量・人通りも少なく来店客は減少・低価格・買い控えと大変厳しい状態が続いている。当店ではこの時期、毎年、年賀状の印刷を受注しているが、今年は単価も低く一人一人の受注枚数が減っている。(昨年150枚の人が100枚に・100枚の人が50枚に減らしている)
		スーパー	客単価・買上げ点数が夏にくらべ減ってきている為。(又、売上昨対も9月にくらべ5ポイントダウン)
		スーパー	デフレスパイラルが続いており、かなり厳しい状況にある。購買も控え気味である。
		専門スーパー	売上が非常に厳しい、客数ならびに客単価が落ちている。
		ドライブイン	売上や来客数は減少傾向となっている。あいかわらず厳しい状況に変わりはない。新しいことにチャレンジしても効果が出ない。
		パチンコ店	例年今頃は年末に向かい客の来店頻度は下がる時期ではあるが今後は客の滞在時間も短くなっており、悪くなっていると思う。
企業	製造業(食料品)	売上減少傾向が続いている。	
	製造業(印刷・同関連業)	受注が減少している為。	
	製造業(窯業・土石製品)	買い控えが以前よりも強くなっていると思われる。	
	製造業(金属製品)	受注量の減少と、価格の下落が続いており、激しさを増している。	
	不動産業	デフレの影響か、客の求める物件単価が下がった気がする。	
	サービス業(広告業)	年末に近づくにつれて、中小企業の経営不安が高まるばかり。特に飲食店の客入りの悪さは深刻。	
	サービス業(コンサルタント業)	取引先の小売店や飲食店の前年同月比を比較すると、3か月前より悪くなったところが多い。特に、クリスマスケーキやおせち、忘年会などの季節商品の予約状況が例年よりも厳しい。景気を反映してか、数の減少とともに価格の安い商品にシフトしている。	
雇用	公共職業安定所	3か月前との比較で、有効求人数は7.3%増加、有効求人倍率も0.49倍と同期比で0.03ポイントの増加となっている。雇用保険の受給者実人員も3か月前との比較では19.5%減少しており数字的には改善されているように見えるが、有効求職者(対前年同月比34.7%増)は7か月連続で10,000人を超える等、厳しい状況が続いているものと思われる。	

(3) 鹿行地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	—	—	—
やや良くなっている	家計	スーパー	チラシの安い商品しか購入しない。衣料品の売上が悪い。無駄な物は購入しない。
		洋食食堂	売上げ高としては低いが、前年比としては9月、10月、11月とアップしている。来客数が増加している。
□業	製造業（鉄鋼業）	製造業（鉄鋼業）	減産も軽減されてきており、良い方向に向かっている。
		不動産業	家賃等を持参する客と会話をしているなかで「仕事の調子はいかがですか」と問いかけると、自宅待機状態から少し急しくなって来ていると嬉しい話が聞かれる。
変わらない	家計	家電販売店	暖冬の傾向にあり、冬物商品の売上に影響は出ているが、エコポイント対象商品を中心に購入意欲は高い（売れている）。
		小売業（菓子販売店）	3か月前と変わらず材料の値上げ（砂糖など）あり、利益率が変わらず客単価が低いため。
		割烹料理店	時期的に忙しいはずなのに、予約の無い日はまったく暇だ。市場に仕入れに行っても仕入れの客が少なく閑散としている。
		タクシー運転手	生活の中を拡張してゆく、計画を予定できない。たとえば休暇旅行等一切の計画遮断のまま年末が来ているのが自分も含め、運転手の現状だ。想像するに、実家、資産家、丈尽でもない限り、正月気分のカケラも想像できない。それでも転職しない理由は、「なまけもの」なのだ。
		レジャー施設	前回と大きな変化はないが、景気が悪くなっているとは思えない。
		理・美容店	時期的要因で若干売上増の月もあるが、この今の景気による上昇とは判断できず結果変わらない。
		住宅販売会社	買い控えの状況のまま変わらない。
		住宅販売会社	具体的に景気の回復した体感がない為。
	□業	農業関係者	農産物価格は横ばいの状況である。年末になり、若干の価格上昇はあるが、季節要因によるもので、景気上昇とは直結しない。
		水産業関係者	水揚げは盛漁期に入り順調だが、受皿の冷凍品輸出環境は円高の進行により悪化しているため、取引価格は低位で推移している。また、水産加工品についても原料高の製品安が続いている。
		製造業（食料品）	荷動きが依然として悪い。
		製造業（飼料）	飼料出荷数量が、前年並みと変わらない。
		製造業（印刷・同関連業）	変化が感じられない。
		製造業（化学工業）	当面は現状維持と思われる。
製造業（化学工業）		回復してきた出荷量を維持しながらの価格交渉という厳しい状態が続いており、利益確保はなかなか難しい状況である。	
雇用	公共職業安定所	管内労働市場の有効求人倍率の8月・9月・10月分より。	
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	アメリカ景気の低迷、購買力の低下、EU他ヨーロッパ景気低迷の慢性化等も三要素の物入金の循環経済に悪影響が日本・中国等に対しても暫くは続き地方経済にもダイレクトに関わっているのが現状と思われる。
		商店街代表者	プレミアム商品券の利用は大型店に集中し、地元商店街への効果は厳しい状況であった。
		商店街代表者	買い控えの感じがする。大手量販店がオリジナルで格安商品を出している現状でデフレが進行する心配をしている。
		小売業（酒類）	売上高が前年比を割り込むようになった。
		小売業（金物店）	市内に、工事現場が少なく地域の工場関係も工事が減少しつつある。物品の売上も減少傾向にある。
		小売業（書店）	3か月前の売上対前年比は同等だったが、今月の売上対前年比は大きく下回っている。ピークタイムの客足もまばら、来店頻度も下がりぎみ。
		タクシー運転手	去年より客足が悪い。特に飲食店の客が少ない。会社から出るチケットが減少して居るようだ。景気が悪いのでは。
		タクシー運転手	売り上げやや悪くなっている。
		タクシー運転手	売り上げが減少している。
		ドライブイン	世界的な景気低迷が続くなか、インフルエンザが猛威を振るっているため、消費者が行楽や娯楽などを自粛していると思われる。
		弁当・惣菜店	毎日、マスコミが放送している通り、3か月前と比べると景気は総合的に判断してやや悪くなっていると思う。
		理・美容店	先行きに対する不安感からか、必要以上の物を購入しなくなっていると思う。ボーナスゼロもあるときいているので今年は特に厳しさがあるのではないだろうか。
		クリーニング店	農家の人などは今年は雨が多くまとまって仕事ができない事や、暖冬の為野菜が豊作だ。肥料や資材は上がっている為。クリーニングでも家で洗えるワイシャツなどの数が減少している。

企業	運輸業（道路貨物運送業）	毎年11月中旬から路線発送の貨物が多くなるはずなのに一段落着いて困っている。師走の慌しさは感じられない。新規貨物はなかなか思った様に決まってない。売れない貨物は在庫こない傾向にある。
	金融業	政府の緊急対策の一環として始まった緊急保証制度の相談や申込が増加しており、資金繰りに窮している状況が窺われることから、景気はやや悪くなっている。
	保険業	個人のガソリンスタンドと個人の自動車修理業者の売上が減少している。
雇用	人材派遣業	先ずは派遣が続かなくなった（長期で働いていた人）。従って短期間の派遣などを探して何とか業務を続けられるように努力している。特に主婦層の働き口が段々と難しい状況になりつつある。また、高齢男性の仕事も難しい状況にある。
	民間職業紹介業	求職者・求人企業とも、かなり減少傾向にある。特に製造業においては景気の低迷により著しい。
	学校就職関係者	離職者対象の講座の応募者増が続いている。製造業関係の求人受付が停滞してしまっている。
家計	スーパー	平日の客数減少、一品単価の下落 必要な分量しか購入しない傾向。
	コンビニエンスストア	客の来店頻度が低下しており、良い日と悪い日がはっきりしている。点数が少ない。
	コンビニエンスストア	コンビニの採用面接を受ける人のほとんどがリストラ、業績の悪化が理由で退職している。客の買い上げ単価も下がる一方で回復の兆しはない。
	自動車販売店	車の販売台数がのびないため。又、減税、補助金があるにもかかわらずのびないため。
	農産物直売所	青果物販売価格の落ち込みが大きい。農家が収入減。
	小売業（薬品店）	デフレの影響が大きく出ている。客数も客単価も大きく落ち込んでいる。
	衣料品販売店	売上と一客単価の減。
	そば処	七五三お祝いがありいつもの月より来客数が多かったにもかかわらず売上につながらず景気が悪いのをひしひしと感じる。
	日本料理店	市場に行っても12月の雰囲気ではない。ボーナスカットや閉店する店も出ている。
	観光型ホテル	利用者が減少している。
	観光型ホテル	予約状況、利用状況より判断。政権が変わり少しの希望があるが、景気が良くなると実感できるのは数年後、数十年後のことであろう。
	パチンコ店	客の来店時間が遅くなり、滞留時間も短く、使用する金額も明らかに減少している。又、土日祝日の商店稼働が減少している。近隣の量販店などは混雑しており、パチンコに使用する金額が減り家族サービスが増えている。
企業	室内装飾業	これからの新築の期待も望めないしリフォームだけの仕事では展望もない。
	製造業（食料品）	10月の後半より売上は減少し始め、11月は不景気の兆しが顕著に現れ12月に入り多少は動きは見えて来ているが、前年に比べ厳しい環境だ。テレビ・新聞の報道は悪いニュースばかりを取り上げているから、先行きの見通しも立たず物の値段が下がっても余計な物は買わないのが現実の様に思われる。
	建設業	住宅建築業界では仕事がないが多い。第一に勤めている会社の景気が悪いのでボーナスカット、給与カット残業が0だ。ですから先行不安の為に住宅建築が少ない。
	サービス業	営業売上の低迷が長引き、改善の兆しが見られない。特に、自動車分野からの受注売上の低迷が顕著である。
雇用	求人開拓員	12月現在、相変わらず好転の兆しは窺えない。鹿行地区における工業団地内の製造業での正社員としての求人は皆無に近い状況となっている。正社員以外では欠員補充的な意味合いの求人は少ないが獲得できている。製造業以外では前回同様に介護・福祉・医療関係の求人は獲得出来るが、有資格者対象の為、求職者が集まらず就職マッチングはかなり困難な状況となっている。

悪くなっている

(4) 県南地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	企業	製造業(非鉄金属)	主力メーカーからの3か月インフォメーション(受注数量)の直近では、9月実績比8%強増加、対前年比では、37%強増加。様変わりの状況にある。
やや良くなっている	家計	農産物直売所	ここ3か月くらいは良くなかったが、先週の売り出しで良い売上だったため。
	企業	製造業(窯業・土石製品)	緊急統合対策により、補正予算が執行されており、受注状況は順調に推移している。
		建設業(設備工事業)	地デジ、エコ、太陽光等の見積依頼が少しずつ増加しているのが今月の前年比と3か月前の前年比を比べると今月の前年比の伸び率は良くなっているのが景気はやや良くなっていると思う。
変わらない	家計	スーパー	野菜、果実の相場が安く、一品単価が下がり、売上前年を割っているが、買上点数は安売りの特売を実施している事もあり、若干伸びている。相変わらず景気は悪く3か月前と変わらない。
		コンビニエンスストア	客の買上点数、客単価に変化が見られない為。
		家電販売店	年末の動向により来客数は増加しているが、ボーナス支給額減少の波により買上率の低下が見られ3か月前とほぼ同等の伸び幅よって変わらない状況。
		和食食堂	売上が伸びない=客数が増えない。ファミリー客がまだ少ない。とくに幼い子の家族連れ。宴会が少ない。
		洋食食堂	客の話の中でボーナスの減額等の話題が絶えない。一部の企業は良くなっているのだろうがまだまだ心配である。
		洋食食堂	個人店なので、自営業の人もサラリーマンの奥様達も変わらずに来店してきてくれる。どちらかというと人と人のつきあいが(つながり)できている店の場合なんとか応援してもらえるのかも。
		都市型ホテル	客との会話打ち合わせの中で、景気の悪い話は出ているが、宴会の件数、単価も景気として変わらないと思われる。
		都市型ホテル	宿泊・宴会において一人あたりの客単価は底をついた感があり、落ちついてきたようでは変化はないように思われる。
		旅行代理店	特に客から受ける印象は変わらないため。
		タクシー運転手	会社関係の仕事が全然増えないので水場自体が3か月前と変わらないので、景気は変わらない。
		タクシー運転手	会社関係、お店どちらの受注も低迷したままである。
		理・美容店	政権交代後、景気対策案の具体的な政策が打ち出されていないため、先行きの不安感により消費も出し引えているのではないかと?
		建築設計事務所	見積依頼はあるものの、契約までには話が進まない。
		住宅販売会社	客の購買意欲は下がっていないが、周りの雰囲気では決めかねているようだ。
		企業	製造業(飲料)
製造業(一般機械器具)	期間社員・契約社員に対する休業措置を引き続き実施している状況にあるため。		
建設業(設備工事業)	材料の動きに、あまり変化が見られない。		
金融業	設備投資がほとんどなく、景気が良くなっている実感はない。		
□□	人材派遣業	やや年末という事もあり生産的に動きはあるが各社共先行不透明感は以前と変わらない様に感じる為。	
	学校就職関係者	3か月前は、求職者に対する訓練の応募が平均で3倍だったが、現在は約2倍と落ち着いてきているため。	
	求人開拓員	同じ業種でも取扱う商品や取引先によって回復基調にある会社もあるが、全体の中で少数である。	
家計	商店街代表者	景気が懸念されている現在、消費の向上は望み厳しく、両親と同居の家庭はそれなりの消費があるが、30才~40才代の家庭では、出費を抑える傾向は強く毎月の賃金も減少しているとの言葉がでて来るようで生活に活力が見えなく、景気は続いて悪くなっているように思う。	
	スーパー	客単価下落。	
	スーパー	競合他店の値上げ競争により一品単価の下落が続いている。前年比も落ち込みが続いている。	
	スーパー	チラシで、11月のイベントでの価格と12月イベント終了時の価格が多少上がった状況(それでも低価格)で集客への反応が今一つない。12月に入り売上前年比3ポイント低下している。	
	コンビニエンスストア	弁当等、今まで売れていたものが売れなくなっている。また、買われ方にも変化が見られ、安く済ませようとしている動きがある。	
	専門スーパー	デフレ報道や暖冬報道が出て、消費が低単価品に大きく傾いている。客数は伸びているものの、客単価は5%以上ダウンしている。必要な物を必要な数だけその都度購入する傾向にあるための客数増にも感じられる。マスコミに大きく取り上げられている一部の企業だけが成長し、そのほかの企業が厳しいと思う。	
	ガソリンスタンド	ハイブリットカーや電気自動車等の開発が進み燃費も良くなりガソリンスタンドへの来店が月/3回から月/2、5回となっておりこのままでは毎年2%ダウンは避けられない。	

や □ や □ 悪 □ く □ な □ っ □ て □ い □ る	旅行代理店	国際化が進んでいるとはいえ、国内旅行は前年比80%来店客は減少している。円高の影響で海外旅行の申込が増加するといいいのだが・・・。ボーナスの支給額が下回ればさらに厳しいと思われる。	
	タクシー運転手	政府がデフレスパイラルを発表し、ドバイショックもあり、業種によってはまた下がりだしたという話をきく。	
	タクシー運転手	「政権は変わったものの何も変わらない」このような内容の話が多くなってきた。現実の厳しい様子がかがえる。ともあれ政治への期待度は高い様に感じる。	
	タクシー運転手	節約思考が強く如実にタクシー利用率に表れている約17%売上減少。	
	ゴルフ場	ゴルフプレー代の値引き交渉の頻度が増加している。	
	ゴルフ場	先月位から実績が落ちている。10月位から景気が落ち込んでいると判断される。	
	パチンコ店	9月頃と今では客数、客単価とも少し減少している。	
	ゲームセンター	前回の調査時よりも売上が減少しており客の来店数も減少しているため。	
企業	農業関係者	これまでは先行き不安のため貯蓄が伸びていたが10月頃から貯金の伸びが小さく、貸付も借入れをするなら現金で支払う傾向が強い。農産物も安くなり出荷物によって昨年の半値になっているものがある。	
	製造業（一般機械器具）	弊社製品も依然として国内需要は前年同月比マイナス40%前後で推移している。また来場客（営業関係含む）の口から出る言葉も同様の内容が等が多い。	
	製造業（食料品）	景気の良い話良くなるという材料が開けない。商店の売上げも年末と言うに前年より落ち込んでいると云う。	
	建設業	全体的に民間客先において、デフレ、円高の影響を受けて動向を見ている感がある。しかし食品関係は業種によっては良くなっている所もある。	
	運輸業（倉庫業）	貨物保管数も減少し、荷動きが少ない状態。生産調整も続いているため、入庫は期待できない。	
	不動産業	リーマンショックに続くドバイショック、民主党の政策に対する不安から土地及び建物は買控え又様子を見ている傾向があり、客足は減っている。又、地価及び賃料はやや下落傾向である。賃貸市況企業の需要が減っており厳しい環境下にある。	
雇用	求人広告	飲食業は単価ダウンし客も減少。サービス業関係は少なからず募集があったが減少してきている。	
	公共職業安定所	雇用調整を行う会社が増加した。新規求人数が前年同期比△25.7%と低く好転しない。	
悪 く な っ て い る	□ □	スーパー	買い上げ点数は前年比に比べると伸びているが、1品単価が下がっている分客単価は前年比で下回っている。売上は3か月前までは前年比を上回ることができていたが、今は前年を下回る結果となった。
		農産物直売所	暖冬による野菜の価格の低迷及び近隣大型ショッピングセンターの開店等悪条件が重なったため。
		寿司店	客の来店数が激減した。
		レジャー施設	寒くなり霞ヶ浦湖面に客を招くのが難しい。土浦市内、特に東口への客が減少している。
	企業	製造業（食料品）	客数・客単価とも減少。
		製造業（印刷業）	客の来店減少。
		製造業（窯業・土石製品）	公共事業について新規契約が減少している。
		建設業	政権交代やデフレによる悪影響が、建設業界には如実に現れている。

(5) 県西地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	—	—	—
やや良	企業	製造業（金属製品）	売り上げだけは上昇している。
変わらない	家計	スーパー	客の買い物指向は依然としてディスカウント商品に向いている。価格請求している商品以外の動きは良くない。
		コンビニエンスストア	以前から必要なもの以外の購入が減少していたが、賞与の減額の報道も有り消費が完全に縮小になっている。デフレ、且つ買上点数の減も改善の目処がなく、厳しい状況が続いている。
		家電販売店	政府のエコポイント施策により、エコポイント該当商品液晶テレビ・冷蔵庫・エアコンが好調に推移。逆に今年は暖冬となり季節商品が厳しい為トータルのには前年並みの状況。
		農産物直売所	暮れのボーナスが支給されたにもかかわらず少し価格が高いと買わない様子、特に嗜好品等についてはそう感じる。
		ガソリンスタンド	相変わらずガソリン販売数量が低迷している。
		和食食堂	売上金及び来客数もほぼ同じなので。
		和食レストラン、割烹	3か月前は売り上げが前年比97%で、今月は101%になっているが、平日とお昼の売り上げ客数が伸び悩んでいる。円高の影響もあるのではないかと企業の宴会が減少している。
		都市型ホテル	予約状況に変化がみられない。又、客単価も横ばいで変化がない。
		ビジネスホテル	新規出店はあるものの、撤退する店や廃業する店もあり全体としてはあまり良くない状況が続いている。
		タクシー運転手	3か月前より、少し水揚が上がっている。しかし、各社の減車により営業台数が減った為であり、景気は変わっていない。
		タクシー運転手	前回と変わりはないが、ロングコースが少し減っている。
		ゴルフ場	予約状況より判断して。
		ゴルフ場	来場者は増加（対前年）傾向であるが、単価の高い大型コンペや法人関係の利用は減少傾向であり、売上は例年と変わらない。
		理・美容店	今は年末だからと言って客のカットサイクルはほとんど変わりが無い。
住宅販売会社	3か月では大きな変化は見られない。		
企業	農業関係者	窓口の客が会社でボーナスがもらえないよとか、前年の同時期と比較して20%減とかの話がある。仕事が全くなかった（パートの方）農作物を生産している方、野菜の価格が前年より30%安い価格で販売されているとの声が多い。	
	製造業（化学工業）	自動車（ハイブリット関連）、半導体関連では顧客の需要見通しが落ちていない。	
	製造業（一般機械器具）	今年は30年も取り引をしていた会社が売上ナシ。又、今取り引している会社も50%ダウンの会社がある。食品会社は変わらない。自動車部品は現在は20%ダウン。	
	製造業（電気機械器具）	作業量増に伴う増員の要望は落ち着いてきたが、微増の状態にある。	
	製造業（印刷・同関連業）	低価格受注等により企業収益が厳しい状態。	
雇用	人材派遣業	毎年、冬場は仕事が多くなる。	
	求人広告	雇用する企業は、一人何役と他の人の分もカバーし求人する様子はない。	
	公共職業安定所	新規求人数が11か月連続で前年同月を下回っており、景気の低迷が続いている。また、新規求職者は16か月連続で前年同月を上回っている。	
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	冬本番に入り毎シーズン先買いする客数が前年と比べても少なくなった。
		商店街代表者	パート女性求人募集をしたところかなり遠方（車で30分位）からの面接希望者あり。近くにはなかなか職がないとの事。当店のよう小さな店でもそのような方が来るのだから職につけない方もいるのではないかと・・・と思った。
		専門スーパー	価格値下げのアピール品を中心に買い、まとめ買いも少ない。必要最低限の購入している。
		和食食堂	不景気感が強く来客数が減少し、年会があっても前年比を比べると伸び率が悪くなっている。
		ドライブイン	客数、売上げ共に減少している。買い控えが顕著。
		ゲームセンター	集客の減少、平日だけではなく土日祝日にもみられはじめている。
企業	製造業（食料品）	年末贈答製品の発注数量が、当初見込みから大幅に減少している。先の見えない民主党の景気対策が顧客の買い控えを増長している。	
	製造業（食料品）	客の仕事の関係上残業がなく給料が安い消費の落ち込みが目立つ。	
	建設業	どの業種をみても景気は良くない気がする。其の為か設備投資・店舗改装も控えている。	
	サービス業（コンサルタント業）	景気回復の兆しが全く見えない。	
雇用	学校就職関係者	生徒の就職活動において、求人を出してもらえない予定の企業が、求人が出せなくなるケースが2件あった。そのため、景気はやや悪くなっていると感じる。	
	就職相談員	今まで景気不景気に左右されなかった企業に影響が出ている。特に製造部門の求人が少ない。	

悪 く な っ て い る	家計	寝具販売	客のお買上げ金額より、判断すると1円でも安い店、安い品へと向いているようだ。品質より今出費するお金が問題。デフレスパイラルに突入したようだ。昔のように良い品物を永く大切にの考えを持つ人を多く作って行かねば景気は良くならないと思う。
		スーパー	客の低価格趣向が強い。1品余分な買い物はしていない。(ムダ使いはしなくなった)
		コンビニエンスストア	3か月前までは客一人当たりの買上単価が下がっているだけであったが、ここ1か月位を見ると客数も前年を割り込んでおり、そのため景気の悪化を感じる。また、例年であれば11月の給料日後やこの時期の週末は売上が上がるのだが、ボーナス支給額が軒並み前年を下回る予測なので、行楽の減少、買い控えにつながっていると感じられる。
		衣料品販売店	現状為替が86円、東証株価が9,300円ではデフレだ。どんどん物が安くなって、企業における利益減。
		自動車販売店	自動車業界では、スクラップインセンティブの優遇税制が、来年3月には無くなるだろうという情報があり購入が冷えこんでいる。その為に、様子を見ている客もいる。
		和食食堂	客の来店数が減少している。
		旅行代理店	円高80円台、高速道ETCが土日祭日乗車一律1000円なので集客がない。インフルエンザ(新型)の流行により、キャンセルが多い。デフレモードなので、お金を使わない。
		タクシー運転手	駅で客待つ時間が長すぎる1時間~2時間かかる。飲食店も暇の為夜も動かない。20:00~22:00動かない。市内を廻る巡回バスを利用する客が多い。
		タクシー運転手	乗車する客が減少した。
		ドライブイン	来場者数、客単価ともに減少しており景気は悪くなっている。ボーナスの減少もあり、歳末に向けても厳しいと思われる。
		レジャー施設	予約状況の現象がみられる、また余計な消費を控えている感じがみうけられる。
		理・美容店	来店サイクルが更に長くなったようだ。冬のボーナスもカットされたという話を良く聞くようになった。11月は急激に落ち込んだ。
		クリーニング店	客から給料が少なくなったやボーナスが出ないや期待出来ないなどのお話を聞くことが多い。
		建築設計事務所	仕事上の受注率がここ数か月全く上がらない状況。得意先の受注量が上がらないため。
企業	農業関係者	何が原因なのか、ここ2か月間は果菜、葉物の価格が半減しており農業所得は激減している。経済不況によるものなのか食物消費が冷え込んでおり、価格安が長く続いている。反面、肥料、農薬等の生産資材は上がったまま品目によっては経費倒れとなっている。	
	製造業(窯業・土石製品)	私たちの業界も数年前よりデフレ気味であったが最近になり一般的にデフレ宣言をされた為一段と悪化が進んでいる。	
	製造業(窯業・土石製品)	今が過去最悪。得意先へ毎日毎日発注依頼の電話をしている。「今が仕事が無い。あれば必ず注文する。注文したいのだが、自分の会社が仕事が少ない。」とほとんどの人、会社に言われるので、すべての業種が良くないと理解認識している。	
	金融業	政府見解のデフレ判定や金融緩和と政策発表などの影響もあり、先行き不透明感から業種別を問わず受注減少が続いている、又、輸出関連の製造業についても円高の影響により受注減少の一途を辿っている事から、年末にも拘わらず消費力が鈍く景況は、悪化している。	

Ⅲ 景気の判断コメント — 2 景気の先行き判断コメント

(1) 県北地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	パチンコ店	3か月前よりも景気の先行きに対して、明るい見通しがある人が増えたと感じる。
やや良くなっている	家計	スーパー	おせち商品の価格前年より低下した。(安くなった) 予定数も前年割れである。年明けしてもこの傾向は変わらない。
		自動車販売店	自動車業界は、年明けから新卒者の需要が増えるため、現状よりは動きが出てくると思われる。
企業	製造業(電気機械器具)	3月をめどに業績回復の兆しが見られる。	
	製造業(電気機械器具)	製品の出荷台数が増加する見込みであるから。	
変わらない	家計	コンビニエンスストア	地元の客層である農家の景気も悪く、消費の低迷は続くと思われる為。
		衣料品販売店	今後売上が伸びる要素が見当たらない。
		小売業(靴製品)	他店はやや悪くなっているが多いようだ。
		スナック	テレビ等で政府のニュースを見る限り、回復にはまだまだ時間がかかりそうに思えるから。
		和食食堂	年末から来年にかけて、少しは動きがあると思うが、それから春に向けてとてもきびしいと思われる。
		観光型ホテル	年が明けても変わらないと思う。
		タクシー運転手	世の中全体がデフレスパイラルなので、タクシーの台数も増えすぎていると思う。ハイヤー協会に入っていない会社は台数などの規制をもっと厳しくするべきだと思う。
		タクシー運転手	景気が良くなる要素がみあたらない。
		タクシー運転手	年末に入るのに売上が変わらないので、3か月前の景気も変わらないと思う。もしかしたら悪くなるかもしれない。
		ドライブイン	現状のまま(低価格人気が続くそう)小規模企業はきびしい。
		レジャー施設	良くなる要因、悪くなる要因いずれに関する顕著な様子が見当たらない為。
		ゴルフ場	1~3月の予約進捗はかなりスローペースで推移している。ドラスティックな景気回復は期待出来ない現状を踏まえると現状維持と推測する。
		住宅販売会社	年度が変わればまた違うかもしれないが、今年度中は変わらないと思う。
企業	林業関係者	住宅の着工件数も年内と同様3か月前も変わらないと思う。木材価格についても前年同様。	
	水産業関係者	現海況は来春まで続くものと考えられ大幅な漁獲量増大は望めない。不景気の状況のまま推移すると思われる。	
	製造業(一般機械器具)	受注は好調ではないものの、堅調だから。	
	製造業(電気機械器具)	先が見えないです。政府が安定しなくては景気は良くなりません。	
	製造業(電気機械器具)	年明けより、輸出を中心に生産高の多少アップが見込まれるが、国内向けの落ち込みが予想されるため、今と同じような状況と判断する。	
	情報通信業(情報サービス業)	良くなる事を期待するが、良くなる要素がまるで無い。	
	運輸付帯サービス業	予算/補正予算成立したとしても、国内需要の伸びも期待できないと判断する。	
雇用	求人広告	良くなる理由もないし、悪くなる理由もないから。	
やや悪くなっている	家計	スーパー	景気対策がない。
		コンビニエンスストア	ボーナスの落ち込みは、金額の落ち込み以上に心理的に買い控えが起きるのではないかとと思われる。また、商品の単価がここに来てどんどん下がっており売上としては更に悪くなっていくことが予想される。
		衣料品販売店	マスコミ等でボーナスカット、賃金減等があり、ボーナスシーズン売上は期待出来ない。
		金物・荒物・建築資材	以前よりも先の仕事(受注)予定が見えてない。
		小売業(酒類)	先行きの経済環境厳しく思う。
		小売業(水産物)	夏頃から客の買い物量がシビアになっている。(今年は今までにないシビアさを感じる)
		レストラン	80%の客の声。
		居酒屋	来店客が少ない。
		観光型ホテル	日帰り宴会の予約に減少が見られる。このまま予約が増えない可能性があり、景気はやや悪くなっていると判断する。
		旅行代理店	季節要因のインフルエンザを除いても需要増の要因がない。
		タクシー運転手	政権交代の先がみえて来ないし、インフルエンザの影響も大。
理・美容店	どうしても不況感から生活最小必要限以外の消費につながらないように感じる。		
企業	製造業(電気機械器具)	主要取引先の生産動向では、12月をピークに10年1月、2月は下降し3月に上昇する計画。半導体関連が底をついて動き出しているとの情報もあり、現行の受注金額に如何に上乗せできるかがポイント。ただし各社決算期でもあり発注量は減少傾向に進むものと思われる、景気はやや悪くなると思われる。	

い る	企業	製造業（輸送用機械器具）	国内の税制還付期限は10/3月迄のため、販売への影響を懸念。又、中国・欧州等の税金還付も予算枠を越える情報もあり打ち止め以降の販売悪化が想定され、再度の作業量減少が心配される。
		運輸業	当社では、冬季は道路に撒く塩化カルシウムの配達を行なっているが、路面が凍結しない為、塩化カルシウムの荷動きが弱くなっている。また、住宅メーカーからの材木の輸送依頼も依然として弱い。
		金融業	地元企業が円高の影響から協力会社及び下請け会社へ発注している仕事を海外へシフトすることを考えており、円高が更に続けば深刻な状況に陥ると考えられる。
		不動産業	大型商業施設がたくさん建ったが、今度は絶対数が多い為、客の取り合いになっており、各自の売上UPには繋がっていないように感じる。暫くすると、大型商業施設間での淘汰が始まるのではと不安を感じる。
い る	雇用	公共職業安定所	報道にもあるように円高やデフレ懸念より、製造業を中心に雇用はおさえられると予想するため。これは高校生を中心とした新規学卒者の内定状況を見てもこのことが言えると考えられる。
		求人開拓員	契約期間終了後の再契約をしない事業所が目立つ為、今後も厳しい状況が続くと思われる。
悪 く な っ て い る	家計	商店街代表者	①少子高齢化による人口減（マインドの部分に於いて）②生活防衛（物を買わない）
		ガソリンスタンド	デフレのスパイラルがひどくなってきたし、建設業には仕事がない。
		観光型ホテル	季節的な面と予約状況や問い合わせなどからの判断。
		ゴルフ場	冬季に関してはもともと閑散期に入るため集客は見込めないが、予約実績そのものが不況を反映している。
		ゴルフ場	①サービス業は円高、株安、失業率等で来場予約のペースが落ちている。②前年比で4～6%予約状況が減少している。③コンベの予約と実績の差が出ている。（10組予約して実績は8組）④22年度国家予算、補正予算の状況に注視する必要がある。
		クリーニング店	客からも景気の悪い話ばかりで、とても良くなるとは思えない。
い る	企業	製造業（電気機械器具）	非常に景気の悪い状態が続いており、回復の兆しが見えてこない。翌年以降の先行きも不透明である。
		建設業	競争は一段と激しくなり、取引先からは前向きな話は出てこないこの状態はまだ続くと思う。
い る	雇用	学校就業関係者	景気については、よい話を聞かないので当面はよくなると思わないと思う。

(2) 県央地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	企業	製造業(精密機械器具)	10月に受注が対予算比215%となり、年度末(3月)納期の生産計画に追われている。
やや良	企業	不動産業	季節的なものなので時期よりは来客数も増えると思うが、あまり楽観的には考えられない。
変わらない	家計	商店街代表者	良くなる要因も、悪くなる要因も見当たらないので当分はこのまま推移するような気がする。
		商店街代表者	新政権になり景気対策・雇用対策を期待していたが、事業仕分けのパフォーマンスばかりが目立ち実際の対策に不安があり、所得・賞与の増額も期待出来ず、消費も伸び悩み景気は良くならない。
		百貨店, 総合スーパー	円高・株安・デフレの傾向は今後も継続する可能性が高いと思われ、早期に企業収益や所得の改善が進むとは考えにくい。
		百貨店, 総合スーパー	客の購入スタイルは今後も変わらないと思う。
		スーパー	見通しがたたない。
		スーパー	政府の税制対策に影響を受けると思われる。
		コンビニエンスストア	プラスアルファでの購入は少なく、必要最低限の商品しか購入されていない為。
		コンビニエンスストア	良くなる要素が見当たらない。
		自動車販売店	1~3月はまだエコ減税補助がみこまれるのであまり変化はないと思う。4月以降がどのように市場が変わるかが心配である。
		農産物直売所	銘柄牛より1ランク安いF1牛はまずまずの売れ行きである。レストラン来店頻度は前年より1割減のまま横ばい推移。控えめな購買意欲がこのまま続くと思われる。
		専門スーパー	現在と同じように悪い。
		専門スーパー	ボーナス減や先行きの不透明感が強いので、買い物をひかえており本当の必要なものだけの購入は、この先も続くと思えるので、現状とさほど変わらないと思う。
		レストラン	円高、デフレの状況が変わらなければ外食をひかえ内食の傾向は変わらないと思う。
		都市型ホテル	客単価・利用数など、3か月先もこの傾向は続くと思われる。
		旅行代理店	ボーナスの大幅削減もあり、買い控えが想定されるが、3月11日茨城空港開港による韓国旅行やチャーター便利用の海外旅行拡大に期待したい。
		タクシー運転手	景気の見通しの判断が難しくなっている。
		タクシー運転手	12月はそれなりに忙しいと思うが、世の中全体がデフレ傾向にありタクシーの運賃を支払うのは抵抗があると思う。
		タクシー運転手	客の話の中でタクシーに乗る機会が少ない。
		レジャー施設	良し悪しの判断材料が見当たらないので。
		レジャー施設	冬に向かい新型インフルエンザの影響がもっと大きくなると思われるが、北関東自動車道の開通効果やETC割引効果はまだ続くと思われる。
理・美容店	この先の景気がよめない。		
建築設計事務所	どん底感をうける。状況を打開すべく闘志も感じられない。		
住宅販売会社	前回の回答同様、今年度中は変わらないと思われる。		
企業	農業関係者	春の作付けに向けて、土壌改良資材の需要期となるが、円高差益により価格は若干下がるものの、効果的期待は薄い。	
	製造業(印刷・同関連業)	景気が停滞気味で短期的には景気浮揚は考えにくく変わらないと思う。	
	製造業(金属製品)	明るい材料が見当たらないので、引き続き悪い状況のままだと思う。	
	製造業(一般機械器具)	悪いまま変わらない。これより良くなるということもないと思う。一部の企業は良くなりそうだがその他の伸びが全然ない。	
	運輸業(道路貨物運送業)	生産がまだまだ回復してなく、各荷主とも先行きを読めない様子である。	
	情報通信業(情報サービス業)	デフレスパイラルの様相、或いは外国為替の異常とも言える円高、株安などが、特に製造業の投資意欲の一層の減退に繋がる懸念される。在庫縮小など身軽になった顧客からも、まだ先行き見通しが不安であり、動くことは難しいとの話が多く聞かれる。年末年始商戦における個人消費は、年間所得の減少影響が懸念されるが、円高や物価低迷が購買意欲を高揚することも考えられる。売上高・利鞘は若干減少するが、景況感は現況の横這いか。	
	金融業	来客数、取引件数、等の推移から見て3か月先という短期的な期間においてはほぼ同水準で景気の変化はないものと思われる。又、中、長期的にも景気の変動は予想されるものの抜本的な景気回復は見込めないものと思われる。	
雇用	人材派遣業	まだまだ景気は変わらない。	
	求人広告	このままだと見込み無し。県・市・国の対策が必要かな!	
	学校就業関係者	政府の景気刺激策や緊急雇用対策が掛け声に終わりそうで、実効あるとは考えられないため。	
	スーパー	政府のデフレ宣言のとおり、価格ダウンのスパイラルに陥っている状況。衣料品は暖冬気味の影響もあり、落ち込みがはげしい。お金を使わなくなってきた。生活の不安→守りへ。	

やや悪くなっている	家計	スーパー	ドバイショックなどもあり、この冬の賞与が良くなるとは思えず購買は更にひえこむのではと思われる。
		家電販売店	物は有るが客は不必要と必要をはっきり分けてどうしてもというものしか買わない。
		レストラン	1回の利用に使う金額が年々低下している。
		レストラン	前年にくらべ事前予約数も減少している為、やや悪くなっていると思う。
		割烹料理店	農家、建築業など仕事が行き詰まっているようだ。職人さんが動いていない。外食する人がへりつつある。
		都市型ホテル	新年会などの予約もにぶく、まだまだ外食に動きが出てこない。単価を下げ集客を計るが前年より利用客が伸びない状況である。
		ドライブイン	良くなるきざしが見えない。
		ドライブイン	この先3か月先はここでは梅祭りの期間に入るので一番多忙であり、1年で一番良い時だ。
		観光名所	現在の景気状況が続くなら好判断の材料は見当たらない販売品について不要不急なものを取り扱っている当社としては良い先行きは期待できない。
		ゴルフ場	これからシーズンオフに突入、天候(雪など)の影響も考えられるため、来場者数の増加が望めない。
パチンコ店	政府対応などが直結しない為。		
企業	製造業(食料品)	デフレ傾向にあり、景気は今後悪くなるであろう。	
	建設業	建設業にはまだ良くなる材料が見当たらない。	
	サービス業(コンサルタント業)	ボーナスの減少や失業率の悪化など景気に関して良い材料がない。小売店では売上不振をカバーしようとして、セールの前倒しやさらなる値下を実施してより利益率を下げた悪循環に陥っている。	
雇用	求人開拓員	来館数の中で若年者と中高年の比率が50% 50%でありジョブカフェの雰囲気ではない。特に、中高年(35歳~)の方の伸びが対前年比208%。採用になかなか結びつかない。	
悪くなっている	家計	観光型ホテル	12月1月は地元客が中心になる時期であるが、本年は忘年会・新年会等の予約が不調。社会の景況感や旅行者の実績を見ても今後1年くらいは厳しい状況と思う。
		パチンコ店	年末から年始にかけて毎年売上も多くなる時期ではあるが、今年は賞与のカットが行われたり客滞率も下がっているため、例年のように活況を呈すことはないと思われる。
		理・美容店	ドバイの件で、ヨーロッパ、アメリカで日本も一段と悪くなると思う。中国はまだのようですが何か景気が悪くなると思う。
	企業	製造業(食料品)	景気回復のきざしがない。
		製造業(印刷・同関連業)	良くなる要素が見当たらない為。
		製造業(窯業・土石製品)	デフレスパイラルに陥っているおそれがあるため。
サービス業(広告業)	あらゆる業界の広告宣伝を扱っているが、すべての予算が激減(50%減当たり前)している状況。それだけ激減するのは、単なる予算削減のレベルではなく、本当にお金がまわっていないと思われる。年末以降に倒産しそうな会社(噂も含む)が多い。		
雇用	公共職業安定所	雇用調整助成金を活用し、休業を実施する事業所数が、一向に減少しない。2~3か月前から比較的小規模の事業所より新規の相談・申請が増えている。中小企業(製造業)の事業主からは、新規の仕事は入るものの採算が合わず(赤字になる為)受注出来ないとか、今は仕事があるが来年3月までとか、先行きは不透明との声が多い。	

(3) 鹿行地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	—	—	—
やや良くなっている	家計	スーパー	食料品の安いものしか売れず、又、衣料品の売上がずっと下がったまま。
	企業	農業関係者	気温にメリハリがある状況が継続しており、ハウス栽培品目において、燃料費も想定範囲内に収まるとの前提による。原油価格が上振れすることが懸念材料。
		製造業（食料品）	例年通り需要期に入る為。但し、年越し後は悪化する。
		製造業（鉄鋼業）	今までは悪かっただけに少しづつでも良い方向に進んで欲しい、願いを込めて。
	不動産業	地元地域（国道沿い）に大型パソコン店舗並びに家具等の量販店が新たに新店し販わりを感じており、この店舗に勤務する方の住居について問い合わせがあり紹介する等の動きがある。	
変わらない	家計	商店街代表者	好転する要素がない。
		スーパー	収入が減少している。労働時間の短縮、削減が強化されている。ワークシェアでは、現在の人員確保が難しい。人員の削減も考えなければならない。
		コンビニエンスストア	企業の業績、収入の増加、雇用状況が変わらない限りで景気回復はあり得ないと思う。
		家電販売店	エコポイントが3月以降継続されるのかによって売上げは左右されそうである。
		小売業（菓子販売店）	3か月先もデフレ傾向は変わらないと思う。
		衣料品販売店	良くなる要素が無いと思う。
		タクシー運転手	新政権で良くなっても、2～3年先でないと景気が良くなるかわからないと思う。
		弁当・惣菜店	年が明けてもこの傾向は続くと思われるので、やや悪くなっているのが変わらなく続くと思われる。
		レジャー施設	3か月先の景気については、前年度と比較して横ばいと思われる。
		理・美容店	政権交代の影響が出るのは、まだ先でありその結果、上向きになるか、下向きになるかはまだ、未知数である為。
		理・美容店	ゆるやかな下り坂といった感じだろうか？
		住宅販売会社	良くなる要素が見当たらないが、悪くもなっていないだろうと思われる。
	住宅販売会社	短期間で改善する具体策が見当たらない為。	
	企業	水産業関係者	大きな変化は見込めない。
		製造業（食料品）	底の見えない不景気に状況が続いても大丈夫な様にして置く事が心理で必要以上に節約し過ぎて消費が冷え込んで悪い連鎖になってしまっている様に思う。景気対策が現実化して、安心の域に入るまで不況は続く様に考える。
		製造業（飼料）	畜産生産者は、価格が上がらず苦しい状況にあるものの、頭数や羽数は横ばいで飼料消費量はあまり変わらないと思われる。
		製造業（印刷・同関連業）	これ以上悪くなることも良くなることも思える予兆を感じない。
		製造業（化学工業）	現在来期の予算を作成しているが、削減状態は変わらずである。
		運輸業（道路貨物運送業）	貨物の動きが悪い状態で春先までは推移すると思っている。品質管理、安全安心には極めて敏感に反応するが、消費動向は最低限の状態が続くのではないかと。
	サービス業	自動車分野 e t c の引き合いが低調である。年度毎の予算制約があり今年度は低迷するのと思われる。	
雇用	人材派遣業	現在の政府の経済対策がどのように実施され、どのタイミングで効果が出るのかも不透明。現状の様な状況が続けば益々先が心配で、社会不安による不安定な生活に連動で安心社会の秩序が維持出来るか心配だ。	
	民間職業紹介業	製造業における景気が低迷している状況は変わらないと推測される。	
	公共職業安定所	有効求人倍率が同数値で推移するものと判断するため。	
	学校就職関係者	現段階では予想がつかない。	
	求人開拓員	当地区においては3か月先に於いても、現状と変わる要素は見出せない状況にある。来年度予算案及び今年度の補正予算案が決まり、雇用に関する予算が増えても、根本的な景気の回復には更なる時間が掛かると思われる。12月時点でも来春の高校卒業予定者の就職についてはかなり厳しい情勢となっていると思われる。12月に入り県内各地区での高校生の就職面接会が常陸鹿嶋ハローワークをスタートに開始され、小生もスタッフとして参加した。参加事業所が44社に対し、参加生徒数181名と厳しい実態を痛感した。	
やや	商店街代表者	生産立国の日本現況を観ると円高の中で輸出を伴う業界には今後内需の拡大策も大切だが輸出奨励金などの支援策も時には必要であると思う。品質の良い農産物も減反一本やりでなく外国へのPR更に輸出振興を計れば地域の後継者の育成に多大の成果が得られるだろう。茨城空港も活用出来ると思う。	
	商店街代表者	事業者だけでなく全業種にわたって廃業が目立ち会員の減少が止まらない。	
	小売業（金物店）	経済政策の遅れが今の不景気の要因になっているのではないかと。今後も企業の輸出の低下と円高がおさまらないうち景気は回復しないのでは無いかと思う。まずは内需を良くし、地方の格差を無くす事だ。	
	小売業（書店）	地方一般企業の資与減額等、マイナスの要因が多く、この先3か月後も景気の減退傾向は続くと思われる。	

や 悪 く な っ て い る	□□	洋食食堂	円高が進んでいるとか、ドバイのバブルがはじけたとか、そんな世界的なニュースがどんどん流れると、どうしても生活防衛という事で、お金を使わなくなると思う。
		割烹料理店	忘年会の予約は入っているが、客の予算は減少している。客のボーナスも減少しているようなので3か月先は厳しいと思う。
		タクシー運転手	タクシーの客が少ない。忘年会シーズンだが客の出足が悪い。
		タクシー運転手	客からの仕事だんだん減少している。
		ドライブイン	景気の先行きが不透明なため、楽観的に考えられない。
		クリーニング店	会社員はボーナスカットや、休日が増えているようだ。又、アルバイトも会社が認めている。1日の仕事も午前中の人と午後の人に分けている。その為昼の弁当などを頼まれなくなっている。
	企業	室内装飾業	仕事をしたくても仕事がないし、もし受注しても利益は望めない。
		製造業（化学工業）	円高等の影響も合わせ、販売価格の上昇が望めない中、コストダウンも限界に近づいており、利益確保がますます難しい状況になるとと思われる。
		金融業	先行きの不透明感は払拭できない状況にあり、設備投資も進まず、返済財源の確保も不透明である事から見通しは楽観できない状況にあり、景気はやや悪くなっていると予想する。
		保険業	農産物の価格が下落している。
悪 く な っ て い る	□□	コンビニエンスストア	商品の単価が安くなっているが、安ければ売れるというものではないので消費が上がるとも思えない。
		自動車販売店	客の話は景気の悪い話ばかりだし、良くなる気配がしないため。
		農産物直売所	給与等の落ち込み（ボーナスカット）。
		小売業（薬品店）	デフレスパイラルによって、消費者の収入が減少し、さらに景気は落ち込むと思われる。
		そば処	良い物より安物へ流れる。
		日本料理店	良い話を聞かない。接待が少なくなっている。
		観光型ホテル	予約が減少してきている。
		タクシー運転手	絶対数（タクシー、又は交通運搬機関の利用客）は極端に減少しているのではなく、単にタクシーを利用しない。それだけだろうと思う。社会の流れを踏まえて、一般の方たちが自粛してゆくの「けんめい」な選択に違いない。だいたい、タクシー運転手が夜の街から「代行」で帰宅する時代や、サービス業だから、懸命に運行サービスに徹して、マジメに働くという流れにはない。
	パチンコ店	不況に強いといわれている業界だが、集客は月毎に減少している。他業種に比べればましな方だといわれているが。変化の薄い業界なので集客の減少に歯止めはきかないと思う。	
	企業	建設業	景気がよくならないと思う。

(4) 県南地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	企業	製造業(非鉄金属)	受注面が増加基調にあり、特に1~3月受注数量は、対前年比80%強増加する見通しから、鋳造、機械加工能力に一部限度を上回りフル操業が続いている。但し4月以降については、依然として不透明な部分多く、設備投資、人員採用は極力増やさない方針に変わりはない。
やや良くなっている	家計	家電販売店	エコポイントの省エネ基準がより厳しい状況になる事が発表となっている為、かけ込みの需要が見込まれる為、若干の景気上昇が判断出来る。
		農産物直売所	年末・年始という事でいろいろ買い物をする機会が増えるため。
	企業	建設業(設備工事業)	地デジへの変更期限がせまっている為、工事が増えると思う。公共工事も増えているが、低入札が多く受注が難しいが引合が増えているので3か月先もやや良くなっていると思う。
変わらない	家計	スーパー	買上点数は伸びているものの一品単価が上がらず3か月後も変わらないと予測出来る。
		コンビニエンスストア	良くなる要素が見当たらない。今後の政治次第ではないかと思う。
		洋食食堂	これからの時期は出費もかさむし、どこかでセーブしなければならず、あまり期待はできない。
		洋食食堂	身の回りの景気は変わらないと思うが、予約の状況を満席にする為に季節のイベント(クリスマス)に広告を出したりして費用を使い数日のイベントにいろいろ出費した。今年は費用をかけず、通常通り営業するつもりだ。結局、忙しく働いてもそれなりに出費するので、マイペースで行く。
		都市型ホテル	客単価は下がらないと思われるが、上がる事もない様に思われる為、変わらないように思われる。
		タクシー運転手	ボーナスカットとか会社関係で補えているので、そんなに変わらない。
		タクシー運転手	時期的に良くなって当たり前だが、去年の今期が例年の2割減だったことを考えると今年もほぼ横ばいとする。
		タクシー運転手	交際費、維持等タクシーを利用する機会が少ない。
		タクシー運転手	デフレ、円高、ドバイショック、先行き不安感強く景気快復の望み薄い。
		建築設計事務所	話の中からいいことが返ってこない。
	住宅販売会社	来年度には明るさが見えてきそうな感じだが、今年度中はまだ変わらないだろう。	
企業	製造業(一般機械器具)	政府からは未だに明確な景気回復策も発表されない中、近い将来に増税や社会保険料の値上げが予想される等、益々購買力が低下し更に負の連鎖が進むことが懸念される。	
	製造業(飲料)	ボーナス等の支給が昨年より減少している。	
	建設業(設備工事業)	入札なども少なくなり、年度末に向かって建物の竣工により多少変化する事も見られると思う。	
	運輸業(倉庫業)	今後も同じ状況が続くと考えられる。新規貨物にも、あまり期待できないため変わらない状況である。	
	金融業	現在、業況が厳しいことから、返済方法の見直し等の相談が多く、3か月先に景気回復しているとは思えない。	
□用	人材派遣業	変わらないというより先が見えていないというのが実情だと思う。	
	求人広告	良くなる日差しは無い。エコポイント、減税等が他業界にもあれば違う!?	
	学校就職関係者	来年度以降も、求職者に対する訓練が増加される予定であり、身の回りからも今後も変化がないと感じられる。	
	求人開拓員	少しずつ仕事が増えている企業でさえ、先行きの見通しが立てられないと、不安を持っている。依然として企業に景況感はなく、明るい話題にあわない。	
やや悪くなる	家計	商店街代表者	大手企業が海外生産、輸入に走り続け、中小零細企業の多い中、デフレ、円高により衣料品、食品スーパー、外食産業すべてが低価格に進み利益の伴う事が少なく、パート、アルバイト等すべての受取る賃金が余裕もなく厳しく景気に光明はまだ先のように見える。
		スーパー	リーマンショック以降、相次ぐ値下げにより、平均単価が落ち込んでいる影響で、売上や利益を前年比で上回ることは非常に困難である状況が続くと思われる。
		スーパー	良くなる要素は、内食ぐらいで単価の下落はとめられない。
		スーパー	ますますデフレ傾向となり、年末商戦においても冬のボーナスの減少のインパクト強く、相当サイフのヒモがしまると思われる。12月は更に消費低迷が予測される。
		コンビニエンスストア	客は本当に必要な商品、サービスのみしかお金を使わない。
		専門スーパー	現状の政治の流れでは景気回復はないと思う。流れとしては現状の下降傾向のままだと思う。公共事業が進捗しないのが大きな原因だと思う。原材料、資材、施工がうまく流れていかないと、国内のお金の流れがさらに鈍化し相乗効果が出ないため厳しいと思う。
		都市型ホテル	歓送迎会のシーズンを迎えるが、今現状あまり動きが悪い(昨年より)との判断、同年行事の取りやめや縮小などがあり、悪くなってくると思われる。
		旅行代理店	デフレスパイラル円高等現在騒がれている中、客がより安いものしか目がいなくなりそうだから。
		旅行代理店	前年に比べて先行の申込状況が良くない。円高の影響で海外旅行の申込を期待したいが、3か月先はまったく見えない状況である。
		タクシー運転手	まだ続くと思われるデフレスパイラル。企業も今まで以上に厳しい商況になるのではと思う。

て い る	ゴルフ場	プレー代の値引きももちろんだが、コンペパーティー等の単価が減少している（予約時点での交渉時に）	
	ゴルフ場	今後3か月の予約も落ちこんでいる。現在の景気の落ちこみをそのまま引きずっている様に思われる。	
	パチンコ店	先々の事を考え娯楽に現金を投資する事がむなしく感じて3月頃は今より多少悪くなると思われる。	
	ゲームセンター	1年間ぐらい前年売上を越える事がなく、現在も持ち直す感じを見受けられないため。	
	理・美容店	円高、デフレスパイラルはますます深刻化しそうな気がする。今の時代、1円でも安くが当たり前になっているため年末ますます価格競争が激化しそうな気がする。	
□業	製造業（食料品）	落込であろう話に、警戒感が消費力をなくすと思う。	
	製造業（窯業・土石製品）	新政権による事業仕訳による公共事業費の削減等により影響が出てくると思われる。	
	製造業（一般機械器具）	円高が続くようであればさらに悪くなると思う。	
	不動産業	世界環境的に良い材料が見られずデフレのスパイラルが続くと思う。需給のバランスより地価、賃料が更に下落し取引も底下すると思う。ただスポット的につくばの研究学園周辺及び駅近くの物件はニーズがあり周辺部、郊外と二極化の傾向が益々広がると思う。	
雇用	公共職業安定所	円高の影響を受け厳しい会社が増加すると思われる。	
悪 く な っ て い る	家□	スーパー	今後も値下げなど特に大手などは円高セールなど実施し今後も一品単価の上昇につながる様な気配はない。
		農産物直売所	今冬のボーナス支給も期待が出来ず、円高の加速、デフレスパイラル化の様相 e t c、経済的に好条件は見当たらず景気の好転は望めない。
		ガソリンスタンド	ガソリンも悪いがホームガスも悪くなっている。まさに環境問題であり今の新築はオール電化90%の確率だ。
		寿司店	小売業の方は皆様大変な思いをしている様子がうかがえる。
		レジャー施設	昨年よりも悪く感じる。「サイフのヒモがかたく、お金を出さない。」
□業	農業関係者	農政改革による次の体制が不明なため生産者が不安となっておりこれまでの作付を減らしている人が居る。米の在庫が多く新米が売れず新米も安くないと売れない状況であるため、年に一度の収穫物に対する来年の影響が心配される。	
	製造業（食料品）	現在の来店数や社会情勢を考えると良くなる要素がない。	
	製造業（印刷業）	デフレの為。	
	製造業（窯業・土石製品）	公共事業について新規契約が減少している。当社は前年と同程度を支給しているが、報道によると世間では激減しているの、一部商品を除いては売上げが期待できないと思う。	
	建設業	なんらかの早急な景気対策が必要だが景気回復は望めないと思う。結局金融緩和などは地場産業まで浸透しない、貸渋り（保証の問題）→設備投資しない。運転資金のシュートなど特に建設業は顕著。しかし食品関係は今後ある一定レベルまでは良くなるような感じ。賃貸ビル、倉庫などの管理会社は家賃滞納が多くなってきている話が出ている。	
建設業	公共事業費削減を民主党政権が唱えている限り、建設業界に明るい兆しは無いと思えるから。		

(5) 県西地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	—	—	—
やや良くなっている	家計	家電販売店	季節商品の伸び悩みは感じられるが、政府のエコポイント施策が来年の3月末までと言う事も有り、駆け込み需要が考えられる。来年2月のバンクーバーオリンピックの需要も期待出来る為、家電業界としてはやや良くなっている。
		ゴルフ場	優待料金提示により集客した事も要因であるが、予約に勢いを取り戻している。
		建築設計事務所	政府の景気対策の効果を期待して。
	企業	製造業（窯業・土石製品）	政府行政の経済、景気対策が功を奏にと言いたいが残念だが行政はその場しのぎだ。民間は自助努力で創意工夫してこの現状を糧に業態を変え乗り越えることができると確信している。なぜならば「不景気」が進歩発展には「必要不可欠」だからだ。
変わらない	家計	スーパー	現状のデフレ傾向は3か月後も変わらないと考えられる。客も先の見通しが立たず余計な出費は極力控える行動に変化はないと思われる。
		ガソリンスタンド	客の仕事に関する話を聞いていると景気が上向きになる要素は今のところないと思う。
		和食食堂	11月の売上前年比と変わらず横ばいなので3か月先も変わらないと思う。
		都市型ホテル	良くなる事を期待したいが今の予約状況をみていると変わらないと思う。
		タクシー運転手	客の話から、ボーナス減額や将来の不安から、安物・必要なもの以外購入しない等の話を聞く。
		ドライブイン	景気回復は見込めない。
		ゴルフ場	変化の兆しが見えない。
		ゲームセンター	近くに商業施設が出来たがテナントがうまくまっていなかったり、近くのドラッグストアなどが閉店したりしている為、明るい見通しにつながるようなものが見当たらない。
		理・美容店	うちは固定客がほとんどのためあまり変動はないと思う。かと言って低料金のサロンに流れていかないための努力は必要だ。
	住宅販売会社	来年度の予算が決まってきたので、実際施行されればまた違った変化が生まれると思うが、直近3か月では変化はないだろう。	
	企業	農業関係者	購買する意欲がない（消費の減少傾向）景気の落ち込みが深刻になり、現状が厳しい。
		製造業（一般機械器具）	悪い中でも売上が変わらない、30%ダウン。景気はしばらく良くならないと思う（同業者との話では）。
	雇用	人材派遣業	私の会社は、1月、2月、3月は仕事が減少する。
		求人広告	中小企業は3か月後で回復すると思われない。
公共職業安定所		景気の先行きが不透明で、製造業において受注量は以前より増加しているものの今後の見通しがつかないとしている事業所が多い。	
学校就職関係者		今後も、企業からの求人が増えるとは考えにくい。また、円高のため工業製品の輸出が減る可能性もあり、企業活動は、低迷のまま横ばいの状況にあると考える。	
就職相談員		良くてこのままの状態ではないだろうか。	
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	前年比で、まとめ買いをする客の数量と、単価が減少している。3か月、6か月前よりも、ポイントで購入する客が増加していると思われる。
		コンビニエンスストア	お金を使う年末年始を過ぎての1月、2月は毎年、買い控えがおこりコンビニエンスとしては非常に厳しい月。特に良くなるという先行きも見えないので、ボーナスの額面を見て例年以上の引き締めが起こるのではないかと予想されるため。
		コンビニエンスストア	賞与の支給減、デフレ宣言が出たことから更に消費に慎重になる人が多くなると考えられる。来年には更に物価が下落するという予測からも当面は買い控えが続くと思われる。
		自動車販売店	優遇税制の延長を早く決定してもらわないと現在と変わらないと思う。前倒し購入があったので少し悪くなると思う。
		農産物直売所	年末がこういう状況だと3か月先は今よりやや悪くなっていると思う。
		和食食堂	最近の景況感があまり良くないので支出を控えるのではないかと？
		タクシー運転手	会社全体の景気が悪い為、残業が減っている。パートタイマーが解雇されなかなかに正社員になれない。
		レジャー施設	景気回復の兆しが見えない。
	理・美容店	回復のメドが立たないような気がする。客との会話に活気がない。	
	企業	製造業（食料品）	企業のボーナス支給やクリスマスがあるがサイフのひもは良くないと思う。
製造業（化学工業）		季節変動要因（中華圏での旧正月）でやや落ちる。	
製造業（金属製品）		年度末を向かえることもあり、予測難。	
製造業（電気機械器具）		3か月先の状態がつかめず、長期に亘る増員はどこも控えている。	
建設業		政治が景気対策をやっていない・景気不安で対策も不安。雇用関係にも不安がある。	
サービス業（コンサルタント業）		景気回復の兆しが全く見えない。	

悪 く な っ て い る	□□	商店街代表者	新聞・テレビ等マイナス要因ばかりそんな要因を払拭して仕事をしているか。毎日の売上を見ると客の財布のひもはかたいと感じる。
		寝具販売	現在来春中学へ入学する6年生を対象に学生服の採寸会を行っている。例年100名以上の学生服の注文があるが、今年は親戚や、友達などから、学生服や、体操着をお下がりで頂く傾向が大変多くある。3月の売上が心配だ。特にボーナスがなくなったのが大きな原因かも？
		スーパー	競合対社のチラシ（中味）がますます価格の下げが目立っている。売上げが下がると業界は価格に走る傾向がある。
		衣料品販売店	給料が減り、物を求めなくなる。どんどん悪くなる一方であろう。
		専門スーパー	具体的な対策がない。税金が高くなり、年金などの支給も確実性がないため、貯蓄にまわる。又、企業の減収も増大し給与カットも増えると予測できる。
		和食食堂	不景気が当分続くと思われる。客単価や利益率は減少傾向にあり悪くなっていると思う。
		和食レストラン、割烹	企業の状況が悪化しているので3月までは悪いと思う。飲食業は一般企業の状態がよくなってこないと思うのでしばらく（3月まで）続くと思う。
		旅行代理店	先行き不透明である。増々厳しくなると思う。公共事業の見直し、中止、削減がでているので労働者は余ってくる。つまり、失業者増、賃金が下がり、消費しない防衛する。
		ビジネスホテル	12月期～2月期まではかなり深刻な状況になる。デフレスパイラルが進行し、企業活動の停滞が続く。中小零細企業への影響も大きくなり、大変厳しい年の瀬年初になりそう。
		タクシー運転手	給与賞与が少ない中で今月の後半から来月にかけて出費が多くなる為にその後は出費をおさえる為に景気は悪いと思う。
		タクシー運転手	今の民主党政治では良くなるわけがないと思う。
		ドライブイン	デフレ傾向が改善される様子は見当たらず、景気回復の兆しはなく、むしろ悪化すると思われる。
		クリーニング店	年末年始の仕事が少なくなっている。
		企業	農業関係者
製造業（食料品）	政府のデフレ宣言で消費者物価が更に低下する。ただでさえコスト削減に努力をしているのにこれ以上仕切り単価が下がっては商売にならない。原料を安価な輸入品に置き換えるか、人件費を抑制するために外国に工程を持っていかなければならない。日本製品が高品質であり続けるためには、健全な経済環境が必要。		
製造業（窯業・土石製品）	先行の見通しは非常に暗い。		
金融業	受注確保の為に、全体的な価格破壊の感が強まり利益確保のため、経営側は一層の人員削減に走り雇用情勢の悪化が懸念される。（景気二番底の懸念あり）		

Ⅲ 景気の判断コメント — 3 その他の意見

(1) 県北地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	①若年層の就業率の低下、未婚率の高さが客に多く見られる。②親の年金をあてにしている。③離婚が多くなっている（生活苦）
	商店街代表者	近くの大店閉店、ジャスコ勝田店22年2月の予定で閉店されるので表町通りの歩行者が増々減り商店街が淋しくなる予定。
	スーパー	弁当持参の社員増加。都会だけではなかった。削れる費用は極力減の意識強い。商品より価格の傾向ハッキリ。皆わかっていることだが。
	コンビニエンスストア	男性の客は明らかに減っていたり、単価が下がっていたりするが、高齢者や女性の客の来店が大きく減っていない店が見られる。CVSが、日用品の品揃えを拡充していることも要因と考えられる。求人広告を出すと4～5年前の5倍～6倍募集が来る。
	衣料品販売店	価格に対してシビアになっている。古い物を利用する人が多くなってきた。
	衣料品販売店	デフレ傾向が続き、円高の為、経済が不景気なり雇用も不安定になっている。
	小売業（酒類）	歳暮品受注はあるが、件数、単価は若干下がっている。
	小売業（水産物）	ムダな買い物をせず、特売品の売れ行きが上がっている。求人面接をしていると、前の仕事場で解雇されあわてて仕事を探している人が多くなった。
	小売業（靴製品）	最近来店客が少々少なくなっているような気がする。特に若い家庭の夫婦が。キットネットで買い物をするのがあるからかでしょうか？ネット店好調。又、一品単価が伸びない安物指向！！
	居酒屋	忘年会の予約が少ない。
	スナック	家を建てる人が減ったとよく聞くので、長期高額の借入れは先の見通しができない世の中になって、できなくなったのだとつくづく感じる。その分車やレジャーにお金を使う人が増えるのかも・・・？
	和食食堂	最近しばらくぶり顔を見なかった客が戻ってきている。仕事を辞めてしまったか転勤したのかなと思っていた客がここ1年間値上げもせず安価で営業を続けているのを知ったからかもしれないが、ほんとうに儲からない。
	観光型ホテル	客の客単価が下がってきている。
	観光型ホテル	来場者などの予測がつかない。
	観光型ホテル	インフルエンザの影響と思われるが、子供のいる家族の予約が前年よりもかなり減少している。
	タクシー運転手	会社がタクシーチケットの発行を渋っているのが客が乗らない。
	タクシー運転手	私の会社は少しずつ乗務員が少なくなっている。新しい乗務員が入って来ないのか採用をしないのか。昔であれば景気が悪いと乗務員が入って来ていましたが、今はタクシー乗務員の賃金が少ないのが社会でもわかっているのだからそう言う理由なのだろうか。
	ゴルフ場	安価なプランに集中する傾向が引き続き強く伺える。
	ゴルフ場	①料金の安いセルフプレーやハーフプレーが増えている。②いわき地区から～ひたちなか市のゴルフ練習場を訪問したが、6～8月頃に比して、利用者が減少している様子。
	ゴルフ場	web等で料金値下げを希望する声が多くなった。
理・美容店	低価格販売のチラシが多く目につく。世相を物語っているようだ。好景気の時代は昔の夢なのだろうか。	
住宅販売会社	地元企業絡みの半導体・自動車産業が持ち直してもらわないと、特に日立地区は厳しい。	
企業	林業関係者	林業再生基金事業である、森林整備加速化事業が3年間実施予定であり期待できる。
	水産業関係者	現在政府で行われている事業仕分けが水産予算、特に漁業用燃料の予算が削減されることに大きな関心もたれている。焼油税の減免だけは現行のままでもお願いしたいものだ。削減されれば、漁業全体が大きな不景気につながる。
	製造業（精密機器）	仲間内で仕事が出ているというところがきこえてきた。
	製造業（一般機械器具）	一時前の「価格破壊」をほうふつとさせる低価格化競争が本格化したように感じる。製造業からすると適正価格というものは必ずあり単に安いこと＝善ではないと考える。マクロ的にみた場合日本経済にとって良いこととは思えない。また、スーパーなど従来とたいして変わらないのに値下げしたかに見える表記など公正さの観点からのチェックが今後必要と思う。
	製造業（電気機械器具）	近隣の会社も臨時休業。稼働日の減少している会社が増えている。
	製造業（電気機械器具）	ハイブリット車に乗換えを考えたが、何処に行ってもよく見かけるためか購買意欲がなくなりそう。
	製造業（電気機械器具）	日用品や服等の安売り合戦が熾烈である。デフレを実感する。
	製造業（輸送用機械器具）	デフレ基調や円高の進行に伴い食料品・日用品等の価格下落は歓迎したいが、一方、輸出製品への為替影響により、価格競争力の低下に伴うCOST低減要請や為替リスク回避に伴う作業の海外移転等が心配。
	運輸業	大手の工場が統合されたので、その分貨物量は増えた。しかし、地元企業関連の貨物はさらに減少しているようだ。また、常陸那珂港に北海道～東京港のフェリーが北海道～常陸那珂港に変更になったので、フェリーの貨物を扱っている業者が少し潤っているようだ。
	金融業	地元企業関連を取引先及び顧客としている中小企業者が多い為、同関連会社の不振から影響を受けている状況だ。特に、飲食業が接待交際費の減少から直接影響を受けている。
	不動産業	旧伊勢甚のさくらシティーの身の振りがスーパーに決まったようだが、既に周辺には同業店舗が存在しており、新店舗進出は営業戦略上勝算があつての事なのか疑問を感じる。いっそう地元商業が衰退するのはと危惧する。
	運輸附帯サービス業	急激なデフレ現象の段階が、今冬のボーナスの減少でデフレスパイラル化が懸念される。確かに、生活用品（食品、日用品など）を始め、家電品などの価格低下は目に余るものがある。現実にはメーカーからの価格低減の依頼が激しいものがある。
	雇用	求人開拓員

(2) 県央地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	取引先でもある職業訓練校の来年の入学希望者が、就職難の為に急増しているとのこと。
	商店街代表者	11月は水戸市市制120周年・水戸藩開藩400年記念行事が有り、それを祝う形で南町連合商店街がプレミアム商品券を発売したが、売れ行きが鈍く消費が冷え込んでいるのが判る。前回、5月に商品券の発売したところ8日間で完売したが、今回は1か月掛かった。また、「120円セール」「400円セール」を実施したり、南町2丁目商店街で11月1日から28日までのレシートを貯めて抽選出来る「大感謝祭」を実施したが、予想した抽選券の枚数(3000枚)が低く7割弱程度(2000枚)であった。南町2丁目商店街で12月1日から1月31日の2か月間「街燈・街路樹・植栽」と「ふれあい広場」にイルミネーションを施したので、是非、県民に見に来てほしい。
	百貨店、総合スーパー	高額品を購入する方がいる一方、低額品を探す方も増え、その中間の方が減っている感がある。
	スーパー	市場全体が(当社も含め)低価格競争に陥っている。青果品の相場が前年にくらべダウンしたまま、なかなか上がってこない。
	スーパー	内食化が進行しているのか、惣菜の動きは伸長している。
	コンビニエンスストア	消費行動の強弱が極端になっている。普段の生活の中で節約する反面、レジャーや外食、Xmasなどのイベントには、お金を使う傾向が見受けられる。
	農産物直売所	100名いるスタッフの部門別の忘年会が各部門とも意外と高い会費(7000円位)になる店で開催されている。普段控えているためでは。干し芋の宅配の注文が例年に比べて少ない。
	専門スーパー	色々なものの修理依頼が以前にも増して多くなっている。値段が少しでも安ければ、買い替えてなく修理に回っているようである。(自転車、ストーブ、電動工具など)
	レストラン	男性の利用客が減っている一方女性の利用が増えている。昼の利用は安定しているが夜の利用が減少している。
	レストラン	ボーナス時期と集客を期待しているが昨年同時期の動きとはちがう。昼食はお弁当持参で済ませているという声も多く聞く。
	レストラン	企業での利用が少なくなってきた。景気も影響して団体利用が少なくなっていると思う。
	割烹料理店	食べる事は、外食でなくても家でゆっくりとの考えが家族にあるのではないかと忘年会も会社ではなく友人同士と少なくなっている。
	都市型ホテル	茨城空港に関する話題が増えてきている。
	都市型ホテル	ボーナスが昨年より少なくなることや、外食をひかえている様な話を聞く。昼は弁当、夜はスーパーなどの惣菜や、家庭で食事をとることが多くなったような話を良く聞く。
	観光型ホテル	イベントなどがあると日帰り客が集中する傾向にあるのでレジャー願望は根強いと思うが節約志向が先行し、遊び方も多様化してきたので全体のパイが減少してくると思う。
	旅行代理店	冬のボーナス、特に民間企業が大きな打撃を受けており、サラリーマン家庭のファミリー旅行が激減している。
	タクシー運転手	最近、店の撤退、空テナントが増加していると思う。
	タクシー運転手	売上が落ち、歩合給である為苦しい。
	タクシー運転手	例年12月の業界として、夜の飲食店で客数の落ち込みが目立つ。
	ゴルフ場	ドタキャンが増加している。不景気の影響もあるが、ここ最近インターネットの天気予報をみて、天候を確認し予報が悪いと前日でもキャンセルしてくる客が増加している。
	パチンコ店	忘年会、新年会等の話題を聞くことも少なく近辺に食事をしに行っても客数も少なく又店舗そのものが閉めているところが多く見られる。又、客単価を下げている店も多く見られるがそれによって集客が多くなっている店も数は少ないように思う。
	レジャー施設	飲食やお土産品の購入については、利用者数は変わらないが1人あたりの消費額が減少傾向にある。また、割引券などの問い合わせも多くレジャー関連の費用は抑えようという傾向にあると感じる。
	理・美容店	1000円カットが増え、女性スタッフも増えているので女性客はかなり増えていると思う。パーマ客も減り、カラーは自分でする人も多い。
建築設計事務所	経営者は資金繰りに日々ストレスを感じて疲れている様子だ。一方独身サラリーマンは景気状況にうまく順応しエンジョイしている様子を感じる。	
住宅販売会社	建築意欲の高いお客はいるが、周りの環境(親や知人の反対)で躊躇する場合が少なからずある。	
農業関係者	暖冬傾向で灯油の需要が落ちている。	
製造業(印刷・同関連業)	売値が低い状態が続いており政府が言うようにデフレ状態にあると思われる。原材料の高騰をうまく乗り切れない会社が民事再生を申請するのを見るにつけ、規模が大きくても方向転換ができないと厳しいと思う。	
製造業(窯業・土石製品)	食料品、衣類、外食産業など価格が落ちて来ているように感じられ、価格競争の激化が始まってきているよう。	
製造業(一般機械器具)	ほぼ全般に悪い悪いの話だ。ボーナスも半分の半分となって行きます。出せない会社も沢山ある様だ。タクシー、居酒屋、スナックも悪いの連発だ。	

企業	製造業(精密機械器具)	ここにおいて設備投資凍結解除の動きが感じられる。特に生産現場において、現場設置型設備の引き合い・受注が活性化している。来期4月以降の受注の沈静化が心配だ。
	建設業	建設業を除けば最悪の状況は脱しつつある感があるが、株価が上昇しなければ本当の景気回復とはならないのではないと思う。
	運輸業(道路貨物運送業)	デフレ傾向を反映してかスーパーのチラシ等に安売り商品と値引き広告が目立っている。
	情報通信業(情報サービス業)	近隣の店における物品の大幅値引き販売、特に衣料品は、値札の半値近い値引きなど、当初の設定値段のあり方を疑いたくなる様相も散見される。一流品が安価提供の対象となることには、消費者としては、喜びではあるが複雑な気持ちでもある。
	金融業	近年、大型マーケットの出店が非常に目立ち利便性、多様性の面から尋常でない程の集客を得ている店も散見される。しかし反面、昔からの商店街に活気がなくなってきているのも否めない。またデフレに陥っている現在、失業率が増加し益々景気が悪化することが懸念される。
	不動産業	これだけ世間で、不景気と騒いでいるせいか、明るい話題が少なくなった気がする。
	サービス業(コンサルタント業)	水戸市の中心市街地においては、不況下でもなかなか家賃が下がらなかったがここ最近では貸主の意識にも変化が見られ、柔軟に対応してくれることも増えている。実際に、裏通りなどの家賃の比較的安い物件に何人かの若手が開業している。
雇用	求人広告	営業していると店を閉店させる所が目立つ。
	公共職業安定所	来年2月頃、ひたちなか市の大型スーパーが店舗閉鎖予定。
	学校就業関係者	日用雑貨、生鮮食料品の値段が下がってきて有り難いが、それは、高価な品物に消費者は手を出さなくなっているから、安い価格を示さざるを得ないのであって、景気が好転したわけではなく、売り手も買い手も辛抱しているからと思われる。
	求人開拓員	ユニクロ、内ジャスに買い物に行くと物価(ジーンズ・下着・スーツ等)が安くなっている。

(3) 鹿行地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	国内各企業の長期的空洞化による景気の悪化、悪循環が若者や学生の就職難に、又雇用力の低下に及び、地方も都会も同様だ。現況を改め農産物も工業製品も良質な物を産み出す能力をもつ日本は抜群の人材であり、未来性を秘めており、今こそ活かす時期と判断する。関税等の調整は是非必要だ。フリーターもニートも犯罪の多発も減少すると思う。
	商店街代表者	今月、郊外に家具、パソコン専門の2店が閉店、需要が伸びない中で、ますます過当競争がし烈になってくる。
	スーパー	特に、日用雑貨、洗剤、化粧品類が販売不振。外国人による高額商品の万引きなどが発生している。
	スーパー	仕事が少ないのか？採用の問い合わせ（アルバイト）が有る。しかし、なかなか仕事が見つからないとの話だ。
	コンビニエンスストア	ボーナス時期になっているが、その金額を見てお金を使わなくなっている。
	コンビニエンスストア	売価の安いPB商品が良く売れる。コンビニは荒利が高いので店の経営には影響ないが、市場は完全なデフレにあり質が高くても売価の高い商品はほとんど売れなくなっている。
	家電販売店	エコポイントを中心とした政府の景気対策の決定次第で売上げに影響が出そうである。
	自動車販売店	ボーナスの激減。
	農産物直売所	ボーナスカット。
	小売業（菓子販売店）	デフレ傾向の影響か農産物が安く、（農耕地のため）農業を営む方から大変だと言う話を耳にする。
	小売業（酒類）	お歳暮商品の一人当たりの買い上げ点数が減少している。
	小売業（書店）	近隣に2件大型量販店がオープン。
	洋食食堂	平日のランチタイムに関しては、来店客数はもどってきていると思う（単価は低めである）。それにひきかえ、日・祭日の夜（連休の最終日は特に・・・）が悪い。
	割烹料理店	円高の影響で輸出関係の仕事は、厳しいと聞いて、コンビナートの企業が客なのでこの先心配だ。
	日本料理店	茨城空港の出店予定のお店がとりやめになったり良い話が出てこない。いつもは12月代行を頼むと曜日によってはおことわりが出ていたが今年は長くて40分ほど回りも動いてないと感じた。
	タクシー運転手	早朝、早出。冬期間にもかかわらず自主的に早出する運転手あり。早出しているにもかかわらず、仕事はない。そして、深夜繁華街からの帰宅客、タクシー利用が減少のまま。したがって停車している時間が多い。勤務ダイヤがあるのに早じまいする事にも慣れた。深夜、早じまいを事業所は何ら工夫する術もたず、運転手の減給にいそしみ。
	ドライブイン	インフルエンザの影響で家族連れが減少していると思う。
	レジャー施設	変化は見られず横ばい状態である。
	理・美容店	最近、スーパーなどでは、レジ袋が有料化となりエコバックを持参している人を多く見かける。しかし、環境のためというより、たとえ何円でも節約しようという考えであると思う。
	理・美容店	七五三のシーズンだったがレンタルや写真だけというケースが増加した。一応子供の為のイベントなのでそのこと自体は行方がよりコストをかけずにといった感じがする。
クリーニング店	田舎でも建築など新築でなくリフォームする家が増加してきている。税金面でも安くなるし。	
住宅販売会社	雇用の悪化や派遣切りなど、ニュースの中だけではなく、身近なところから聞こえてくる。	
住宅販売会社	住宅購入者の買い控えはさらにエスカレートしているように感じる。	
企業	農業関係者	旧態然とした農業経営では生活困窮となる。若い担い手のいる農家は新たな品種に挑戦しており成果を上げている。今後は行政等に頼る経営ではなく、農業経営者自らが新規品目への転換による経営へシフトすべき時なのかも知れない。
	製造業（食料品）	客単価が低い。必要最小限の購入。
	製造業（食料品）	最近、公共事業も個人住宅の工事をしてる所を見た事がない。企業設備投資も予定が付かず、増しては生産能力の縮小に陥っている状況がいつまで続くのか見えない。政府不況対策事業の予算もはつきり立たず、先行き明るさが見えない限り不景気連鎖で不況は続く様に考える。
	製造業（鉄鋼業）	ニュース等では今季冬季ボーナスが低水準との報道があり全体的な底上げはまだまだ時間がかかると感じる。
	建設業	鹿島市大野地区は調整区域になったので住宅着工が少ない景気の悪い時によけいに悪い。
	運輸業（道路貨物運送業）	政府が経済活性化方針を何か打ち出さなくては消費動向は益々デフレスパイラルになって行くと感じている。この様な状態で一番目につくのは物流費の削減・・・という方程式が出来上がってしまったのではないか。これは悪い傾向である。
	金融業	年始年末を控えて、資金繰りを要する為、緊急保証制度の相談や申込が多くなってきている。
	不動産業	私事だが、息子が近くに企業の中に仕事に行っている。ステンレスの製造をしているのだが、残業がある程忙しいようで給料にも反映されていて仕事に励んでいる。不景気と言われている中、とても有難いことだ。
	サービス業	建築業界でいくつか大型プロジェクトが有り、その分野での試験サービス業務のみ活況だ。（東京スカイツリー等）
雇用	民間職業紹介業	近隣の製造会社においては、中国やベトナム等の東南アジアへの工場移設を検討、着手している会社もみられ、ますます産業の空洞化の傾向に進む感がある。

(4) 県南地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	政府はデフレを認めたのだから早急に対応を取り希望の持てる進路を望む。地方の小さな街では商店会、振興組合などが各種イベントなど計画実行してもその時少々に人々が来客するのみで購買に直決するような明るさは何もなく景気の暗さを実感する。
	スーパー	P B商品の動きは良い。中国産も動いてきていて、食の安全性よりは安いもの重視に移っている感がある。
	スーパー	冬ギフトなどが昨年と比べて弱いと思われる。又ギフトのにも低価格や送料無料などを利用する客が増加した。
	スーパー	デフレ基調→点単価が更に低下している。節約、安価と低価格化傾向続いている。
	コンビニエンスストア	政権交代以降、工事関係者の動きが止まっていたが、ここに来て動きは戻ってきた。但し、買いは以前より減少している。
	家電販売店	小物中心の動向で、大物商品に関しては数回の来店をかきねた上で購入に至るケースが目立つ。
	農産物直売所	仕事(需要)が無いため、週休2日から週休3日にしている会社があるような話を聞いた。
	専門スーパー	開発工事が減少している。小売業の出店が増加している(オーバーストア)。
	ガソリンスタンド	つくば駅周辺のマンションが売れないとの噂がある。契約率が3年物件でも60%であるとの事だ。このままいくと当初の売り出し価格の半額でとの声もある。
	洋食食堂	例年に比べ、10月、11月の落ち込みがひどかった。インフルエンザ等の影響もあったかもしれない。
	洋食食堂	スーパーで高級食材(たとえば和牛)が割引になったら購入している。(高い食材程残ったりして値引きになっている)自分の価値に合ったレストランには出費は惜しまないがその他には使わなくなった。安いワインよりおいしいシャンパンを少し飲むようになった(外食で)。家でおいしい料理を食べている。不景気だが家の中では幸せ、そしてリッチな気分だ。55歳夫、52歳妻、自分たちスタイルが出来上がりました。
	寿司店	8月末の選挙が終わり、9月、10月、11月と段々客の話題も明るくない。そして新型インフルエンザで学級閉鎖、学年閉鎖があり親子さんがふりまわされたり12月になって少し落ち着いたかな。
	都市型ホテル	つくば駅より研究学園駅にSC含め集中し、つくば中心部で店舗の移動や閉店が見受けられ、つくば市役所の新設に伴う事とホテル(宿泊特化型)が2店舗新規参入と厳しい状況化と予測される。
	タクシー運転手	デフレなので、物は安く購入できている。
	タクシー運転手	先の見えない現状では暮しも一段と守りに入っている。
	ゴルフ場	全体の単価に、客が厳しい判断をしている様に感じられる。
	ゴルフ場	コンペの幹事さんからも年末ということもあるのか、非常に金銭的にも厳しいという印象が強い。忘年コンペ(恒例の)取消も目立つ。
	ゲームセンター	出費を抑えるためか家族で来店する客が減少したように思われる。また長時間遊ぶ客も減少した。
	レジャー施設	土浦市内の商店街への客は減少で大変だ。当社は東口に有り霞ヶ浦を利用して客収穫してますが、今後も霞ヶ浦を活用していく。
	理・美容店	この地域近くに大型の電気店がありすぎて安売競争は、デフレを実感する。毎週入る広告紙は「どこよりも安く」を大きくうって、なぜか不安な気持ちになってしまう。
企業	製造業(一般機械器具)	製造業とは違い、大型商業施設等には多くの客が見受けられる(購買の有無は不明)。
	製造業(食料品)	引続き発発事業は行なはられているが地元の建設業者にはあまり関係なく景気の良くなる様子は見られない。
	製造業(食料品)	今までは、小売業が厳しく、小売店そのものが廃業して少なくなっていたが、これからは、飲食店も経営困難になり、廃業が増えてくる。
	製造業(印刷業)	買い控え。
	製造業(窯業・土石製品)	高速道路1,000円利用は社員の間でも相当話題になっているが、余った金を浪費する事はしていないようだ。
	製造業(窯業・土石製品)	円高の進行やデフレの進行により、輸出産業の業績悪化懸念、消費者の買い控えが懸念される。
	製造業(非鉄金属)	主力メーカーからは、先行き見通しが不透明なこともあり、設備投資、人員を増やさないでほしいとの指導がある。
	建設業(設備工事業)	仕事量減少の為、社員削減、社長の給料引下げ、法人会社を個人へ変更し、社長婦人はバイトへ出る。会社負担の社会保険料が大変な為国民年金に変更している会社もある。
	金融業	大型ショッピングセンター及び駅ビルの改装等により、週末は人通りが増えているが、平日の商店街及び飲食店街は閑散としている状況である。
	不動産業	広告購体等に施けるネット集客の比率が高まっており、デジタル的情報発進が完全に紙媒体を圧倒している。これは不産業が完全な第四次産業の情報産業化している事と20代~30代のニーズに答えている為と思う。
雇用	人材派遣業	介護業界が派遣の利用を減らしている感がある。
	求人広告	茨城空港の関係で周辺道路が出来ているが便利になるとダメージを受ける企業が多数ある。
	求人開拓員	毎年数名ずつ新卒を採用している企業でも、採用したくても今年は見合わせると聞く。現状の雇用維持に苦勞している企業が多い。

(5) 県西地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	市内の空きビルが今年中に解体され、来年春頃に新しい店舗が建設予定とのこと。街中に少し先が見えてきた感じがする。
	商店街代表者	地元の第三弾スーパープレミアム商品券（1万円で12、000円の商品券）が12月に販売される。第二回総額2億が即日完売になり買えなかった方のプーイングが強く第三回は総額3億の商品券販売となる。当店に足を運んでもらえるよう秘策を練っている。前回も記入したが景気の起爆剤になる事を強く望む！
	寝具販売	最近、地元の店や工場の倒産、閉鎖、廃業の声をよく耳にする。当社の取引先の間屋も12月で廃業するとの事。流通経路が変化して、卸売業がやっていけない実情だ。又、インターネットの普及で何でも自宅に居て、安く色々な品物が買える時代になり、増々取り残された店は大変になると思う。
	スーパー	食料の取り扱いのスーパーだが、他業態の衣料品、ホームセンターその他外食産業を含め、価格下げのチラシ掲載が多く成っている。（完全にデフレに突入している。いつまで続くのか？）
	コンビニエンスストア	昼は本業の土木作業、夕方はコンビニでバイトという方がいるが、昼の仕事が全くないらしく、できる限り長い時間お店で働かせて欲しいとの要望が出ている。土木関係の下請けは仕事がありませんなってしまうのではないかと感じる。
	コンビニエンスストア	例年は年始にセールや福袋の販売が多かったが、今年は年末に向けたセールや拡販策が多く打ち出されているのを見かける。
	衣料品販売店	特に若い年代層の客が、商品購入が少なくなっている。年配の方の消費傾向である。
	自動車販売店	極端に、我々自動車ディーラーに、車を見に来る客数が減少した。土日の国道50号線の交通量も大変少ない。以前はダンプカーの量が多かったが、仕事が減ったせいかダンプカーもあまり走っていない。
	農産物直売所	すべての物が安くなっているような感じがしている。この状況で景気が回復するとは思えない。
	専門スーパー	1点あたりの買上単価減少。
	ガソリンスタンド	定期的に購入頂いていた、オイルや燃料添加剤など交換期間が伸びたり、又、購入を取りやめたりすることが多くなった。
	和食食堂	客との会話で良く話題に登る物に來期の政策での各手当てや扶養控除の廃止等があり不安感があると話される方が多い。
	和食食堂	宴会が減少して居り、少人数の宴会が増加している。
	和食レストラン、割烹	客単価が下がっている。外食の回数が減っており、選ばれる店とそうでない店の差がはっきりしている。2～3年で飲食店は30%くらいなくなってしまうと聞いている。
	都市型ホテル	先日、アルバイトの求人広告を出した所、今までの希望者の5倍位面接の人がいた。
	旅行代理店	近所のギフトセンターが倒産した。大手の日用品、雑貨、園芸など扱う会社も社名変更だ。燃料も最近グングン値上がりしている。灯油は、暖冬だから値上げできないが近々値上げ。
	タクシー運転手	地域活性の一環として、駅前にイルミネーションを飾った。今月からだが、イルミネーションを見に来る人がいる。駅を利用している人もあしを止めて、見物してから帰宅する人が増加している。
	タクシー運転手	夜の飲食会が少なくなり夜のタクシーの動きが悪い。
	ドライブイン	インフルエンザの流行で外出を控え、行楽地へ行くより家で過ごす人が増えたと聞いた。消費傾向にも変化があるのではないかと・・・
	ドライブイン	衝動買い等が少なくなり、特売品に対する反応は敏感である様な気がする。
	ゴルフ場	予約日、直前のキャンセルが増えて来ている。
	ゲームセンター	客からボーナス減少の話などもあり先行きが不安である。
	レジャー施設	飲食店などの駐車場などに車が止まっていない。
理・美容店	やはり女性のほうが活気があり、元気だ。消費にも積極的な気がする。	
理・美容店	今は会社が仕事がないので週休3日や4日になっている所が多いので、その分、給料やボーナスも少なくなっているので、年末だからと言って忙しいとは限らない現状だ。	
住宅販売会社	景気浮揚への期待感だけが空回りしている感じがする。	
	農業関係者	連日「事業仕分け」が報道されている。賛否有るかと思われるが、関連機関や関係者にとっては最大の不安要素となっている様だ。これによる不安も消費低迷に影響を与えているとも思える。
	農業関係者	スーパー、直売所を見て回ると必要な物だけ買う、余分には買わない。貯金をしたいが生活するだけで残りが無い。子供が高校卒業するが就職先がまだ決まらないとか。
	製造業（食料品）	財務相のでたらめな経済対策と、首相をはじめとした政治資金の杜撰な取り扱いに呆れている。民主党政権に辟易・絶望している人の声をよく耳にする。
	製造業（食料品）	テレビやマスメディアがデフレデフレとさざわばれば消費者は無駄をなくすると思う。
	製造業（印刷・同関連業）	「事業仕分け」は、ムダをあぶり出すということでは大きな意味を持つと思われるが、デフレスパイラルに入ろうとしている現在、積極的な財政を望む声が多いように思う。すでに業界はスパイラルの真ただ中に入っており、先が心配だ。

企業	製造業（化学工業）	自動車関連ではハイブリット関連は好調維持と見る顧客が大半。パソコン関連は当初見通しほど需要の落ち込みが少なく、Windows7の影響(?)ではないかと思われる。
	製造業（窯業・土石製品）	私たちの仕事は平和産業と云われており生活が安定しない限り見通しはよくないと思う。
	製造業（窯業・土石製品）	一週間に一回位水戸市の大工町へ夜行くが、去年の今に比べて人が歩いていないし、又、車が少ない。それだけで今の景気の現状が理解できる。客が少ないから料金（飲み代）を高くしてくる。だから客は高いから行かない。デフレと同じ構図だ。景気良くする最善策として国会議員を削減することが肝要だと私は認識しておりますが皆さんはいかがお考えでしょうか？
	製造業（金属製品）	今まで以上に短納期化している。
	建設業	デフレスパイラルで商品だけが値下がりをしている。
	金融業	政権交代により、景気回復への期待感に見えるものの、消費回復の兆しまでは遠い。しかしながら、週末の高速道路等の混雑を見ると、料金千円～無料化に対する一般消費の改善（観光地等）に兆が見える。
	不動産業	全体的に賃貸・売買の客とも金額的に安いものを探している。
	サービス業（コンサルタント業）	民主党政権に期待していたが、現状では効果ある経済対策が立案されていないように見受けられることに対する失望感があり、デフレの深耕が止められそうもないような雰囲気があり全く回復の兆しが見えないことも不景気感を加速させているような気がする。
雇用	人材派遣業	全体的に仕事の量が少ない。50%位に落ち込んでいる。
	学校就職関係者	来年度入学希望者は、修了時に資格が取れる科を希望する傾向にある。就職活動が不振のため、今のところは資格を取っておこうという考えがみられる。